

## シリア、トルコ軍の侵入を厳しく非難

(スプートニク 2016年08月25日 11:17)

© AFP 2016/ Youssef Karwashan 1/2 <http://goo.gl/i0xkIc>

シリア外務省は同国北部で起きたトルコ軍による侵入を厳しく非難。ロイター通信が報じた。外務省の声明には、シリア領内におけるいかなる反テロ作戦もシリア政府との合意に基づいて行われねばならないと書かれ、トルコ軍の侵入によって北部にいる「ダーイシュ（IS、イスラム国）」は他のテロ組織と入れ替わると指摘されている。

シリアにおけるクルド人の自治機関はトルコ空軍がジャラブルス市を空爆したことによって一般市民29人が殺害されたとする非難声明を表している。さらに3千人を超える市民がジャラブルス市からの避難を余儀なくされた。

先に報じられたところでは、トルコ軍の戦車部隊が国境を越え、シリアへ侵入した。

<http://sptnkne.ws/bZs7>

## 2016年に世界で起きた大地震の数々

(スプートニク 2016年08月25日 14:01)

© REUTERS/ Kyodo 3/3 <http://goo.gl/2mtFjd>

8月24日、イタリア中部で、強い地震が発生した。最も大きな被害を受けたのは、ラツィオ州リエーティ県だった。最初の揺れはアクモリ地区でモスクワ時間04時36分に観測され、それに数回の揺れが続いた。欧州地震センター（EMSC）のデータによれば、地震の規模は、マグニチュード6.1だった。

なお米国地質調査所はマグニチュード6.2と発表した。揺れは、イタリアの多くの都市の住民にも感じられた。地震後の地滑りの結果、アマトリーチェの町が破壊された。市当局は、6人の死亡を確認した。一方マスコミは、少なくとも14人が亡くなったと報じている。

8月19日金曜日の朝、アルゼンチン南東沖の大西洋にある英国領サウスジョージア島で、マグニチュード7.4の地震が発生。震源は島の東、震源の深さは10キロ。最初の大きな揺れに続き、マグニチュード5.3と5.2の余震が発生した。幸い、人的物的被害の情報は届いていない。

8月12日、太平洋に浮かぶバヌアツ沖で、M7.6の地震が起きた。震源は島の東方、ニューカレドニアのハンター島の108キロ沖合。震源の深さは16.1キロ。人的物的被害の情報は無い。

7月29日、西太平洋の北マリアナ諸島沖で、M7.7の地震があった。震源は、米国の自治領北マ

リアナ諸島に属するアグリハン島の南東 32 キロ。震源の深さは 188 キロ。人的物的被害の情報は届いていない。

5月28日、大西洋南部南極に近いサウスサンドイッチ諸島（英国の海外領土）沖でM7.3の地震が発生。震源は、無人島であるビソコイ島の北西 50 キロ。震源の深さは 93,2 キロ。津波警報は発令されなかった。

4月28日、バヌアツ沖の太平洋でM7.3の地震が発生。震源はバヌアツ中部マランパ州の州都ラカトロの南東、震源の深さは 10 キロ。人的物的被害の情報は届いておらず、津波警報も発令されなかった。

4月16日の協定世界時（UTC）で23時58分、モスクワ時間で17日02時58分、南米エクアドルでM7.8の地震が発生。震源はムイスネ村の南東 28 キロ。震源の深さは 20.2 キロ。663人が死亡、12,500人が重軽傷を負った。マナビ、エスメラルダス、サントドミンゴ-デ-ロス-ツァチラス、グアヤス、サンタ-エレナ、ロス-リオス各県のインフラ施設に大きな被害が出た。

九州の熊本県を中心に4月14日からM7.3を最高とする一連の地震が続いた。多くの家屋や橋などが倒壊したほか、地滑りや土砂崩れにより道路や鉄道に被害が出た。およそ 500 回もの揺れが観測された。熊本県だけで、約 400 棟が全壊、1,262 棟が半壊した。40 人以上が亡くなり、1 千人以上が負傷した。

4月3日、バヌアツ沖で、M7.2の地震が発生。震源は、ソラ村の南西 77 キロ。震源の深さは 10 キロ。人的物的被害の情報は無い。

3月2日、インドネシア・スマトラ島西方のインド洋でM7.9の地震が発生、島の中でパニックが起きた。震源は、スマトラ島の北西沖に位置するメンタワイ島の南西 682 キロ。震源の深さは、インド洋の海面下 10 キロ。

1月30日、ロシア極東カムチャツカ半島でM7.3の地震があった。震源は、行政の中心地ペトロパヴロフスクカムチャツキイの北東 87 キロ。震源の深さは 189 キロ。被害なし。

<http://sptnkne.ws/bZsr>

## イタリア中心部地震 犠牲者数は 247 人に

(スプートニク 2016年08月25日 14:08)

© REUTERS/ Emiliano Grillotti <http://goo.gl/SgRaV0>

24日未明にイタリア中部で起きたM6の破壊的地震による犠牲者の数は247人に達した。イタリアの報道機関ANSAが報じた。先に伝えられたところによると、この地震により、少なくとも159

人が死亡した。被災地となったアマトリーチェ、ペスカーラ・デル・トロント、アックモリ、アルクアータでは活発な捜索救助活動が続いている。

<http://sptnkne.ws/bZsh>

### **カブール、占拠された大学の犠牲者数、10人以上に**

(スポーツニク 2016年08月25日 14:29)

◎ AP Photo/ Rahmat Gul <http://goo.gl/ifgjzA>

武装グループによって占拠されたアフガニスタン首都のアメリカ大学で、少なくとも12人が死亡、44人が負傷した。地元警察が発表した。先に警察の代表が記者団に語ったところでは、アフガニスタンの治安部隊は大学襲撃者全員を殲滅した。詳細は後日発表される。自爆テロ犯水曜19時（日本時間21時30分）、爆発物を詰めた車の中の自爆テロ犯が大学の門のそばで爆弾を起爆した。その後、数人の武装した者たちが大学の建物に押し入った。

<http://sptnkne.ws/bZty>

### **安倍首相、年内に中韓指導者との三国間会議を開催したい考え**

(スポーツニク 2016年08月25日 14:49)

◎ AFP 2016/ Jung Yeon-Je <http://goo.gl/AASjjU>

安倍首相は、今年の年末までに日本、中国、韓国の首脳間の三国間会議を開催することを期待している。日本、中国、韓国は地域の安全と繁栄を保障する大きな責任を帯びている、と首相は強調した。24日に開催された3カ国の外相レベルでの三者交渉は、北朝鮮の新たなミサイル発射を背景に緊張した雰囲気の中で行われた。そのため、外相らは会談の大部分を朝鮮半島情勢を議論に割いた。交渉の主な成果の一つは、今年以内に3カ国首脳によるサミットを組織することに向け協力することで合意が得られたこと。

<http://sptnkne.ws/bZth>

### **金正恩氏、米国を確実に「掌握している」と明言**

(スポーツニク 2016年08月25日 15:22)

◎ REUTERS/ KCNA <http://goo.gl/E3IfkT>

北朝鮮の金正恩第一書記は弾道ミサイル潜水艦のテストの際、北朝鮮は「米国本土と太平洋にお

ける作戦行動領域を確実に掌握している」と述べた。韓国の朝鮮中央通信が伝えた。

金正恩氏は「発射技術は完成した」と述べ、発射装置の安全性、固体燃料用エンジンのパワー、誘導システムの信頼性と弾頭の命中精度は「完全に必要な運用レベルを達成した」と強調した。北朝鮮は水曜、新たな弾道ミサイル実験で、ミサイルを500キロ飛行させ、日本の防空識別圏80キロの深さに打ち込んだ。北朝鮮は範囲を意図的に調整したと述べた。

<http://sptnkne.ws/bZtB>

## **国連シリア常駐代表：シリアにおける化学兵器使用の背後勢力は国連安保理諸国の支持を受けている**

(スプートニク 2016年08月25日 17:02)

© Sputnik/ Mikhail Voskresenskiy <http://goo.gl/VKlxgd>

スプートニクの独占インタビューで国連のバシヤール・アル・ジャアファリシリア常駐代表は、国連安全保障理事会はシリアにおける化学兵器使用の調査を妨害している、と述べた。アレッポで最初の化学ガス攻撃が行われた後、同氏はシリア政府による調査への協力を国連事務総長に要請した。テロリストが化学兵器でアレッポを攻撃事務総長は明確に、化学兵器使用の背後にいる勢力の特定を助けることはできない、との立場を示した。

「我々は一定の政治的状況により国連安全保障理事会のメンバーらが攻撃の背後にある勢力が特定されないままであることを望んでいるのだということをはっきり理解した。今や国連の一番下っ端の外交官でも既にシリアとイラクで何が起きているか理解している。テロとの闘いはシリア当局と連携して公正な国際的連合を創設する以外に不可能である。人々は国際法の何たるかを忘れてしまった。」

同時に、同氏は、シリアの騒乱はトルコによるものであるとして、トルコによるテロリスト支援を非難した。トルコは独自の計画を実現するためダーイシュ (IS) に資金を提供しているという。

<http://sptnkne.ws/bZvp>

## **ロシア外務省 トルコによるシリアでの作戦についてコメン**

(スプートニク 2016年08月25日 19:54)

© Sputnik/ Maxim Blinov 1/3 <http://goo.gl/TNEgHC>

ロシア外務省は、トルコが開始した軍事作戦に関連してシリアとトルコの国境地域で起こっていることに懸念を抱いている。外務省のサイトに掲載された同省情報印刷局のコメントの中で述べら

れている。

外務省は、「まず民間人の犠牲者が出たり、クルド人とアラブ人の民族紛争が悪化する可能性を考慮した場合など、紛争地帯の今後の状況悪化の可能性が不安を呼んでいる」と指摘した。

外務省はシリア危機について、クルド人を含む全ての民族・宗教グループが参加する幅広いシリア間対話を通じ、国際法の確固とした基盤に基づいてのみ解決が可能だとの確信を示している。8月24日午前、トルコ軍が米国主導の有志連合の支援のもと、シリアで武装勢力に対する作戦を開始した。

<http://sptnkne.ws/bZzj>

### **ロシアはパラリンピック選手のための特別なイベントを開催するプーチン大統領**

(スポーツニク 2016年08月25日 21:14)

◎ Sputnik/ Anton Denisov <http://goo.gl/Z1jtvj>

ロシアはオリンピックと同等の賞与をもつパラリンピック選手のための特別なイベントを開催する。ロシアのプーチン大統領が国家勲章の授賞式で語った。「私は我が国のパラリンピック選手たちに言いたい。もちろん、私たちはあなたたちを支援し、あなたたちが自分の技量を示すことができるような特別なイベントを開催し、勝利者と受賞者への奨励は五輪で得られたであろうそれと同等になる」とプーチン大統領は約束した。

先に伝えられたところによると、スポーツ仲裁裁判所(CSA)はロシア・パラリンピック委員会の訴えを却下し、ロシア人選手らの2016年リオ・パラリンピックへの参加を禁じた。

<http://sptnkne.ws/bZ3v>

### **3ヵ国首脳会談への環境作りの1つである日中韓外相会談が東京で開催**

(スポーツニク 2016年08月25日 22:04 タチヤナ・フロニ)

写真 <http://goo.gl/45pe5p>

3ヵ国首脳会談への環境作りの1つである日中韓外相会談が東京で開催された。今回の外相会談は、3国関係の大幅な悪化という極めて喜ばしくない背景に先行されて行われた。深い意見の隔たりから、日中韓外相会談は開催されないのではという危惧感さえ表されていた。

日本は高まる不安の中、無人島である尖閣諸島(中国語で釣魚群島)所有権をより執拗に主張する中国を監視している。一方、韓国は自国での米国のTHAADシステム配備という決定を取った

が、この決定は中国側からの反発と抗議を引き起こした。だが、それでも3ヵ国外相会談が開催されたということは、緊張を緩和するという日中韓の共通の志向を物語っている。その願いの主な理由は、経済にある。

ロシア科学アカデミー東洋学研究所韓国・モンゴル部門のアレクサンドル・ヴォロンツォフ部門長はスプートニクのインタビューで、このように東アジアの情勢は日中韓の矛盾を背景とした明らかな緊迫化を伴ってはいるものの、多方向に進展しているとして、さらに次のように述べている。

「日中韓の意見の隔たりが急速に埋まることは、近い将来には期待できない。しかし、経済は非常に真剣なものであり、3ヵ国の首脳は十分にそれを認識している。このような状況では、この3国が以前に達成できた重要かつ肯定的な点、特にいわゆる東アジア首脳会議（EAS）というプロセスの枠内において達成されたものを維持することが大事だ。なぜなら東アジア地域で政治経熱、もしくは政治と経済の分離という原則は十分効果的な発展を示したからだ。この諸国間で起きた政治危機はすでにかかなりの危険値に達したが、にもかかわらず経済協力のほうは効果的な発展を続けた。

そして今日東アジアではこの日中韓の3ヵ国ブロックは、地域を先導し、この地域全体の発展を促す経済の原動力だ。しかも彼らの経済協力プロセスが始まったのは最近の話ではなく、今日積極的に進められている環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）よりもはるかに前のことだ。それにより正確を期すとTPPは米国の圧力で進められていったほうが正しい。

専門家らはEASとTPPを互いに競合する統合モデルとしてとらえている。また日本がこの両方に参加しているのに対し、中韓はTPPには全く参加していない。とはいえ、韓国はいつも中間的なポジションを取り、TPPには参加していないが、TPP参加国の大部分と個別に貿易パートナーシップ協定を調印している。だが、3国の参加がTPP、EASのどちらの統合体にもどんな形で行なわれようとも、経済でこの3つの経済大国に示される客観的な現実、今後の接近において他はない。」

<http://sptnkne.ws/bZ6R>

## **露外務省：米韓合同軍事演習は朝鮮半島で火災を起こす火種となる可能性がある**

（スプートニク 2016年08月25日 23:51）

◎ Sputnik/ Vladimir Astapkovich <http://goo.gl/Pz0H1Y>

ロシア外務省は、米韓合同軍事演習を深刻に懸念している。25日、ロシア外務省のザハロワ報道官が記者会見で発表した。

ザハロワ氏は、次のように語った—

「最近始まった米国と韓国の大規模演習は我々の深刻な懸念を呼んでいる。我々は朝鮮半島の高まる緊張を背景に、このような軍の訓練があらゆる状況を本物の火災へ導く火種の原因となり得るのを危惧している。」

またザハロワ氏は、米韓合同軍事演習がすでに北朝鮮の極めて激しいネガティブな反応を呼んだと指摘した。さらに、ザハロワ報道官は高精度MDシステムであるTHAADの韓国配備を批判した。

「米国が同盟国の支援の下アジア太平洋セグメントでのグローバル MD システムの能力を増強し続けており、これが既存の戦略的バランスを損なうことは不可避であること、そしてもちろん、地域全体での朝鮮半島の情勢をさらに複雑するという事実に対し我々は疑いを持たない。」

<http://sptnkne.ws/bZAm>

## ロシア スイスの連邦裁判所でパラリンピックからの除外に意義を唱える

(スプートニク 2016年08月26日 06:43)

© Sputnik/ Anton Denisov <http://goo.gl/pnRWlf>

ロシアは、スイスの連邦裁判所で、リオデジャネイロ・パラリンピックからロシア選手団を除外する決定に異議を唱える。ロシアのムトコ・スポーツ相が発表した。ムトコ氏は、記者団に「スイスの連邦裁判所に訴える。個別に訴訟を起こす可能性が検討されている」と述べた。

マクラーレン氏率いる委員会の報告書を基にリオデジャネイロ・パラリンピックからのロシア代表団の除外と、ロシア・パラリンピック委員会の資格停止を決めた国際パラリンピック委員会の決定に対するロシアの訴えをスポーツ仲裁裁判所が棄却したため、ロシアの選手たちは2016年パラリンピックに出場できない。

ムトコ氏は、「これは完全に政治的な決定だ。パラリンピック・スポーツの発展に取り組むべきである組織がそのような決定を承認するとは全く理解できない」と述べた。

<http://sptnkne.ws/bZKn>

## 日本政府は東京五輪準備費を回収できるか？

(スプートニク 2016年08月26日 08:17 リュドミラ サーキャン)

© Sputnik/ Aleksandr Utkin <http://goo.gl/MKKLW5>

日本は2020年東京五輪を観にやってくる観客に感激してもらおうと、安全、快適さ、イベント性

に一番の重点を置く構えだ。安倍首相はすでに大々的なコマーシャルに打って出た。リオ五輪閉幕式でスーパーマリオに扮して登場し、会場をあっといわせた。スーパーマリオといえば1985年に任天堂が発売を開始し、全世界を風靡した人気ゲームだ。

経済ニュースサイトの「マーケットウォッチ」は、安倍首相は、東京五輪が日本経済支援に一役買い、スポーツ関連部門の生活に新風を吹き込んでくれると期待していると書いている。日本政府はすでに五輪のスタジアムおよびその他のインフラ施設建設に73億ドルを拠出した。この値は著しく増えるものと予想される。なぜなら巨額の投資が交通運輸網の刷新にもつぎ込まれる計画だからだ。日銀の評価ではこの投資はこれからの2～3年、日本のGDP成長率の毎年0.3%ほど押し上げるとされている。

安倍氏はスポーツは日本の名目GDPを2015年と比較し20%引上げる可能性を秘めた重要な分野と指摘。日本ではスポーツと関連した産業部門はスポーツ用品の生産、販売、スポーツ施設の利用、スポーツ競技の観戦を含め、2002年から2012年の間の10年で20%落ち込んだ。これは人口動態状況と関連している。五輪準備では新たな投資は新たな施設の建設、古い施設の建て直し、スポーツ観光の振興に充当される。バーやレストランでのスポーツ観戦をより普及させるための措置もとられる。世論調査の結果、日本人がスポーツイベントに支払う額は年間一人当たりわずか6.6ドルであることが明らかとなった。こうすることで日本政府はスポーツセクターの収益を2020年までに2倍に、2025年までに3倍にふやそうと目論んでいる。このほかにも安倍首相は五輪によって毎年の外国人観光客のインバウンドのレベルが上がり、2020年までには年間4千万人に達してほしいと期待している。

ロシア科学アカデミー極東研究所、日本調査センターのヴァレリー・キスタノフ所長は安倍首相のスーパーマリオによるデモンストレーションについて、次のように語っている。

「マリオ姿の安倍氏の登場には度肝を抜かれた。可笑しくもある。日本の文化では首相がみんなを笑わせようとするのではない。これは安倍氏が東京五輪はハイレベルで行なわれて欲しいと切望していることに関係するのではないか。東京五輪周辺オリンピックのエンブレムが盗用されていたのだ、設計家たちが水増し請求していただくとすでいくつかのスキャンダルが起きている。安倍氏の立場は容易ではない社会経済状況から困難なものとなった。給与は上がらない。国民感情もあまりよくない。だから安倍氏にとってはマリオに扮装したのはもうひとつ、国民の気持ちを高揚させる手段だったのかもしれない。」

日本国民の気持ちを一番盛り上げてくれたのはリオで41ものメダルを勝ち取った日本人選手団だった。このメダル数は史上最多であり、しかも金メダルの総数でも日本は世界で6位にまでのぼりつめたのだ。前向きな動きはすでに見られる。北京五輪では8位、ロンドン五輪では10位だった日本が6位にまでのし上がったのだから。2020年の東京五輪ではおそらくもっと上を狙うことにターゲットが絞られるだろう。

とはいえ、東京五輪そのものはおそらく安倍首相ぬきで行なわれる。安倍氏の首相就任期間は2017年12月で終わるからだ。これについてキスタノフ所長は次のように語っている。



「安倍氏が例外という形で3期目も現職に残りたがっているという噂があった。安倍氏は後になってこの噂を否定はしたが…。自党内でも安倍氏は3期目も出るのではないかという見解が聞かれる。とはいえ、そのためには規約の修正が必要となる。」

リオ五輪では安倍首相は扮装しただけにとどまらず、ちゃんとIOCのトーマス・バッハ会長とも会談を行っている。会談では2020年五輪の組織とドーピング対策に関連したあらゆる問題の協同行動が取り上げられた。

<http://sptnkne.ws/bZKq>

### **露外務省 日本との建設的な平和条約締結交渉に期待**

(スプートニク 2016年08月26日 09:25)

© Sputnik/ Vladimir Pesnya <http://goo.gl/d6KQfe>

ロシア外務省のザハロフ報道官は、日本との平和条約締結問題について、ロシアは両国の建設的な話し合いに期待していると発表した。報道官は、「我々は、それ（ロシアと日本の平和条約締結交渉）が生産的なもの、建設的なものとなることに期待している。この作業におけるしかるべき動きは、我々両国の首脳会談の結果にしたがってもたらされた」と述べた。26日、モスクワで露日外務次官級交渉が予定されている。

<http://sptnkne.ws/bZKs>

### **IOCメンバーのタルピシェフ氏、リオの雰囲気について、ロシア女子ダブルスの勝利、パラリンピックの出場停止について語る**

(スプートニク 2016年08月26日 10:22 タチヤナ・フロニ)

© AFP 2016/ Alexander Utkin <http://goo.gl/CJVQxk>

クレムリンではリオ五輪のメダリストらの貢献を讃える表彰式とプーチン大統領との会合が催された。表彰式の行なわれる前日、ロシアテニス連盟の会長で国際オリンピック委員会（IOC）のメンバーのシャミーリ・タルピシェフ氏はスプートニクからのインタビューの答え、リオでロシア人選手らがどのように迎えられたのか、パラリンピック出場停止処分について、テニスの女子ダブルスのエカテリーナ・マカロヴァ、エレナ・ヴェスニナのペアの金メダルについて語った。

決勝でロシアのペアはスイスのマルチナ・ヒンギスとティメア・バシンスキー組を下した。タルピシェフ氏はマカロヴァ、ヴェスニナ組の金メダルはロシアテニス界全体が貢献して勝ち取った大きな勝利だとして、次のように語っている。

**タルピシェフ氏**：「私たちは本当に幸せです。テニス史全体を通じてロシアは選手団全体の成績としては米国に次いで2位です。これは本当に多くの国がテニスでプレーしていることを考えると、紛いもなく私たちが勝ち取った成功なんです。テニス連盟の数は210もある。つまり競争は本当に厳しいのです。」

**スポーツニク**：ロシア人選手に対して偏見的な姿勢は感じられましたか？

**タルピシェフ氏**：「ブラジルでは観客はとても歓迎してくれましたよ。開会式のパレードでロシア人選手団が入場したときもブーイングなどは一切なく、拍手喝さいで迎えられました。つまりロシア人選手団を取り巻く全体的な雰囲気はポジティブでした。個々のスポーツ選手が何かが入らなかつたとして発言することはどんな競技でもあります。それを気に留める必要はありません。大切なのはオリンピックの精神が完全にスポーツマン精神にのっとったものだったということです！ 大きなスポーツの祭典になりました。それに私たちにとっては予期しない嬉しいことがたくさん起きましたからね。女子ハンドボール、水球、レスリング、ボクシングがよい贈り物をしてくれました。」

ところがタルピシェフ氏は、マカロヴァ、ヴェスニナ組はリオでの成功に酔う暇もなかったと語っている。それはどうしてだろうか？

**タルピシェフ氏**：「2人にはこれからデビスカップ、クレムリンカップが控えていますからね。それにリオでさえ、優勝した後、私たちがレストランの門をくぐったのは深夜0時ですよ。深夜2時まで夕食もランチも一緒。朝ごはんの分も前倒して食べたといってもいいくらい。なぜって翌朝には2人はもう米国に飛んでいましたからね。現地で次の試合があるので。」

リオ五輪までの時点でロシアはすでにシングルでは金メダルを獲得していた。2008年の北京五輪でエレナ・デメンチエヴァ選手が、また2000年のシドニー五輪ではエヴゲーニー・カフェリニコフ選手が優勝していた。それが今や、女子ダブルスでも金メダルがあるのだ。ないのは五輪の男子ダブルスだけとなったが、この分野で金は望めるのだろうか？

**タルピシェフ氏**：「今、テニス界には若い素晴らしい選手らがいます。グランドスラムの18歳以下の試合にはロシアの男女はほぼ全試合を制覇しています。ですから大テニス界のロシア人選手のリザーブは単に大きいというレベルを超えて、巨大なのです。ロシアの若いテニス選手といえば今やここ12年から15年はヨーロッパでは最大です。ですから将来はもう安泰だと思っていますよ。」

ただ残念なことにリオ五輪でのロシア選手団の輝かしい成功もパラリンピック出場停止処分の決定によって影が落ちてしまった。タルピシェフ氏はこの決定での最たるファクターは倫理道徳的なものだとして、次のように語った。

**タルピシェフ氏**：「私はIOCの一員としてこれを非難する立場にありません。ですが普通の人間の観点からすればこれは正しいことではないと思います。それにロシア側にとっては今、課題は

この決定が誤りだったと認められることに集約されています。なぜなら今、ロシア人パラリンピストらを取り巻く状況は全く不公平なものだからです。私たち全員、悔しくてたまりません。」

<http://sptnkne.ws/bZKu>

### **ロシア機 IL-76、空飛ぶ宇宙基地になる可能性あり**

(スプートニク 2016年08月26日 11:15)

© Sputnik/ Iliya Pitalev <http://goo.gl/mGdWbL>

ロシアは宇宙船の空中基地の開発を再開する。プロジェクト「ヴィニューガ（吹雪）」で宇宙船搭載機の役を担うのは IL-76 だ。

プロジェクトの主な目的は商業ベースでの一般生物学および技術的研究を行い、宇宙飛行用の新しい材料を得ること。さらに、システムは最大半トンの衛星の打ち上げにも適用される可能性がある。衛星搭載の打ち上げロケットを地上からでなく高度 10~15 キロの特別機から発射するという趣旨のプロジェクト。

このような方法にはいくつかの利点がある。空気圧によるエネルギー損失が消えるため、ロケットエンジンは真空中で最高のパフォーマンスを示す。また、地理的な観点から最も有利な場所である地球の赤道近くから発射し、大幅に燃料消費量を削減できる。

最後に、新しく地上発射場や海上プラットフォームを建造する必要がなくなり、既存の飛行場だけで十分になる。

先に報じられたところによると、ロシアの科学者は電子戦装備の影響から軍事機器を保護し、それを敵が発見することを防ぐことができるフェライト繊維を開発した。

<http://sptnkne.ws/bZPu>

### **ロシア最優秀の日本研究者ら、安倍首相訪ウラジオにむけ特別本を出版へ**

(スプートニク 2016年08月26日 14:44)

© Fotolia/ Peshkova <http://goo.gl/5QLMDg>

安倍首相のウラジオストク訪問に向け、露日両国の専門家らによって特別出版が準備されている。この本は、ウラジオストクでの東方経済フォーラムでプレゼンテーションが行なわれる。本のテーマは露日関係の発展。

本の編者らは「これはロシアの諸大学、ロシア科学アカデミーきっての最優秀なロシア人研究者らと日本の諸大学の専門家らが合同で準備したもの。見解はそれぞれ異なるものの、みな、露日関係は計り知れないポテンシャルを持っており、これを発展させねばならないという信念を共有しており、それをひとつにまとめたもの」と語っている。

極東連邦大学の代表者らによれば、英語で出版される本は9月2～3日、ウラジオストクで行われる東方経済フォーラムの参加者らを前にプレゼンテーションが行なわれる。

<http://sptnkne.ws/bZPD>

### **トルコ南東部で大爆発（写真、動画）**

（スプートニク 2016年08月26日 18:57）

© AFP 2016/ Stringer 1/2 <http://goo.gl/fLs27k>

トルコ南東部ジズレ市の警察署で大爆発。爆発によって建物は完全に破壊。26日、NTVテレビが報じた。爆発による犠牲者は現時点で9人が死亡、64人が負傷。ロイター通信が医療関係者の消息筋の情報を引用して報道。

[twitter.com/](http://twitter.com/) <http://goo.gl/MA7u3M>

[twitter.com/](http://twitter.com/) <http://goo.gl/AmHAbU>

爆発が起きたのは警察署の建物の脇。警察署の建物自体は完全に破壊。犠牲者の中には警察の職員は少なくとも1人は含まれている。トルコ警察はクルド労働者党の犯行を疑っている。クルド労働者党はトルコでは活動が禁止されている。先に伝えられたところによるとトルコは、シリア北部で軍事作戦を開始した。

<http://sptnkne.ws/bZMS>

### **米国海軍 接近してきたイランの小型船に発砲**

（スプートニク 2016年08月26日 22:10）

© AP Photo/ <http://goo.gl/wMCLBj>

水曜日、米国海軍のパトロール船「Squall」は、接近してきたイランの小型船に警告発砲した。CNNが伝えた。イラン船は、米国の2隻のパトロール船及びキューバ海軍の艦船に、200ヤード（約183メートル）の距離まで接近した。この出来事は、ペルシア湾の北部海域で発生した。

CNNによれば、米パトロール船の乗組員は、無線でイラン船との通信を試み、また信号弾を使って、この海域から去るよう求めた。しかし反応がなかったため、米パトロール船は、イラン船が接近してきた方向に、水中に向け警告発砲した。

なお前日、米国はイランの小型船による駆逐艦への「危険な」接近を非難している。

<http://sptnkne.ws/bZQw>

### **ロシア外務省、ロイターの記事「クリミア観光は失敗」は「注文で書かれた」**

(スプートニク 2016年08月26日 18:06)

© Sputnik/ Maksim Blinov <http://goo.gl/RX0aLC>

ロシア外務省ノマリヤ・ザハロヴァ公式報道官は、ロイター通信がクリミア観光について観光客激減で観光シーズンは失敗と書いた記事を掲載したことについて、記事は「注文を受けて書かれたポートレート」と手厳しく非難。ザハロヴァ報道官は記事の内容の多くが実際とは一致していないと指摘している。「これはジャーナリストの仕事とは到底言えない。注文を受けてかかれたポートレートだ。言われたとおりに書いたのだろう」。

クリミアは依然としてロシア人、ウクライナ人が愛し、体を休めることのできる最も必要な場所であり続けている。ザハロヴァ報道官は、クリミアの観光客の数は毎年増えており、現時点でその数は400万人に達しており、2015年比で26%以上も増えたと指摘した。

7月、クリミアのセルゲイ・ストレリビツキー・リゾート観光相は、クリミアの「オールインクルーディング」システムでサービスを提供するホテルはトルコよりもチョイスは多様で、莫大な需要があると語っていた。

今年、観光シーズン開始時にクリミアを旅行したある英国人はその模様をビデオにおさめ、好印象をつづった。その記事（ビデオ）はこちらから。<http://goo.gl/xqnjzH>

<http://sptnkne.ws/bZTb>

### **イスラエル Apple ユーザー監視アプリを配信**

(スプートニク 2016年08月26日 18:50)

© REUTERS/ Suzanne Plunkett <http://goo.gl/tus5HM>

イスラエルの電子監視用コンピュータープログラムメーカーNSOグループは、米Appleが製造したオペレーション・システムiOSの脆弱性を利用し、機器への無断アクセスに成功した。新聞

The New York Times が報じた。

記事の中では「NSOグループのプログラムを使えば、送られてきたテキストやメールを読むことができ、電話やコンタクトを監視できる。またその助けを借りて、音声録音もでき、さらにパスワードをメモし携帯電話ユーザーの居場所も知ることができる」と指摘されている。

スパイプログラムに関する情報が明らかになった後、Apple 社は、iOS の最新バージョン「iOS 9.3.5」をリリースした。すでにユーザーによりアップデートがなされている。新聞 The New York Times は、このプログラムは特に、アラブ首長国連邦の政治家達を監視してきた、と指摘している。

先に伝えられたところによると、グーグルは、スカイプに似たビデオ通話アプリ公開した。

<http://sptnkne.ws/bZTv>

## ロシアの軍艦 25 隻超が黒海、カスピ海へ出る

(スプートニク 2016 年 08 月 26 日 20:47)

© Sputnik/ Ildus Gilyazutdinov <http://goo.gl/8e4JwM>

ロシアのカスピ小艦隊の軍艦 10 隻以上とロシア海軍黒海艦隊の 15 隻を越える軍艦が軍の抜き打ち訓練の枠内で出港。スプートニクがロシア国防省の発表を引用して報じた。

国防省の発表によれば、ロシア南部のアストラハン、カスピスクに基地をおくカスピ小艦隊からは 10 隻を超える軍艦、ボート、補助船が出港。なかには最新の小型ミサイル船「グラド・スヴィヤジスク」「ヴェリーキー・ウスチュグ」「ウグリチ」や砲船、近海掃海艇、主力掃海艇も含まれている。

先に伝えられたところによると、ロシア外務省は、トルコによるシリアでの作戦についてコメントした。

<http://sptnkne.ws/bZUt>

## 露国防省 日本にアレッポでの人道作戦参加を提案

(スプートニク 2016 年 08 月 26 日 21:00)

© Sputnik/ Michael Alaeddin 1/2 <http://goo.gl/u4rbdD>

露国防省のアナトリー・アントノフ次官は上月豊久駐露日本大使と会談を行った。国防省サイトで報じられた。上月大使にはロシア軍の抜き打ち訓練について報告された、また、日本にシリア・

アレppoでの人道作戦に加わるよう提案されたと指摘されている。また、会談中には朝鮮半島とアジア太平洋地域の情勢についての意見がかわされたと伝えられている。先に伝えられたところによると露外務省は、日本との建設的な平和条約締結交渉に期待した。

<http://sptnkne.ws/bZUT>

## 専門家「もしイタリアで日本のような耐震建築がなされていたら、地震は大きな問題にはならなかった」

(スプートニク 2016年08月27日 03:37 タチヤナ・フロニ)

© Sputnik/ Natalia Shmakova <http://goo.gl/1Jzqk6>

イタリア中部地震は、最新のデータによれば、およそ300人の命を奪った。地震学者達は、最初の強い揺れに匹敵するような新たな地震が起きる可能性を除外していない。イタリア人の記憶には、2009年の地震の恐ろしい記憶がいまだ鮮明だ。この地震で、アブルッツォ州ラクイラ県の県都ラクイラは大きな被害を受け、数百人が亡くなった。ラクイラは、現在に至るまで、あの悲劇から完全には立ち直っていない。なおこの町は、今回の地震の震源から遠くない場所にある。

スプートニク記者は、ロシア科学アカデミー地球物理学研究所実験室のアレクサンドル・リュブシン室長にインタビューし、今回の地震はイタリア中部が地震学的に危険であることを意味するかどうか、聞いた。

リュブシン氏は次のように答えてくれた—

「イタリア中部は、実際、地震地帯だが、事実上、大地震が起きる特徴的な場所ではない。大地震が特徴的なのは、イタリア南部のシチリア島だ。イタリア中部でM6の地震が発生した場合、基本的な危険は、山岳部に古い小さな家々が立ち並び、その大部分が地震に耐えられないという事にある。つまり建物が、一世紀あるいはそれ以上に建てられた、かなり古いものだという事だ。もしこの地域の建物が、日本でされているような形で作られていたなら、住民達は地震を感じもしなかったろう。おそらく家具が揺れる程度で、犠牲者は出なかったと思う。しかし、イタリアの古い町では、明らかな理由でそれができない。なぜなら、そうした町の大部分が、歴史的文化財だからだ。」

今回地震の揺れは、イタリア観光のメッカの一つ、首都ローマでも感じられた。次にスプートニク記者は、やはり観光客に人気があるロシアの首都モスクワについて、地震学者の目から見て、どのくらいの危険があるのか尋ねてみた—

「モスクワは、地質学的に普通の諸条件下にあり、中心には地震学的に落ち着いたプラットフォームがある。それゆえモスクワが存在する場所での地震発生の可能性は、極めて低い。しかし遠くの地震波は、時にモスクワまで実際に達することもある。いわゆる遠隔地震だ。そうした

地震は歴史的に、ルーマニアのヴランチャ・ゾーンでしばしば発生する。このゾーンの地震の特徴は、震源がたいへん深いことで、南はギリシャから北はフィンランドまで非常に広い範囲で起こる。少なくとも 100 人が行方不明しかし遠いところまで達する地震波は、もうそれほど破壊的なものではない。時に建物が少し揺れる程度のものに過ぎない。こうした現象は 2013 年にモスクワで観測された、オホーツク海でおきた M8.3 の大地震の余波がモスクワでも感じられたのだ。もしそうした地震が人口密集地の表面近くで起きたなら、大変な被害となっただろう。地震の震源の深さは、およそ 600 キロとたいへん深いものだった。その波が、実際に遥かモスクワまで達したのだ。」

地震の予知が非常に難しく、確実なものであることは、よく知られている。日本に関して、アレクサンドル・リュブシン氏は「地震の被害を最小限にするため、地震活動が活発なゾーン、例えば南海トラフや日本海溝の状態を絶えず監視しながら、あらかじめ可能なあらゆることをするだろう」と指摘し、次のように続けた—

「日本の方々が、実際大分以前から、この事を懸念し、東京地区での地震被害阻止に向けて、この問題に関する国家プログラムを作成してきたことは、秘密でも何でもなし。地震が発生した場合、犠牲者の数が約 30 万に達する可能性があるとの試算もなされた。しかし、よく言われるように、備えあれば憂いなしだ。日本人の名誉のために言えば、耐震建築に関する事、また東京というメガポリスの住民の安全を最大限守るためになされている事は、極めてハイレベルにある。我々は、日本人から学ぶことがたくさんある。」

<http://sptnkne.ws/bZVN>

## ロシアの戦略重要施設を狙う中国人ハッカー攻撃、2倍に増大

(スプートニク 2016 年 08 月 26 日 20:46)

© Fotolia/ Brian Jackson <http://goo.gl/Ww05k1>

中国領域からロシアの戦略的に重要な施設へのハッカー攻撃の回数が 2016 年の最初の 7 ヶ月間で前年同時期比で 2.5 倍も増えた。ロシアのコンピューターセキュリティ会社「カスペルスキー」の専門家、アレクサンドル・ゴステフ氏がブルームバーグに対して明らかにした。インタビューは 26 日付けのブルームバーグのサイトに掲載されている。

ロシアの戦略的重要施設へのサイバー攻撃は 2015 年を通じて 72 回記録されている。ところが 2016 年の 7 月末までの 7 ヶ月間でその回数は 194 回にも達した。そのうち、トロイの木馬型ウイルスが使われた回数は 50 を越えている。

2016 年当初から中国領内からのサイバー攻撃被害を受けたロシアの企業、組織の数は 35。中にはミサイル、レーダー、ナビゲーション機器を生産する国防産業の工場が 7 箇所、5 つの省、航空産業体が 4 社、原子力エネルギー部門の組織 2 箇所も含まれている。ハッカー攻撃を受けた組織の具



体名についてはカスペルスキー社の顧客情報守秘義務からインタビューでは明かされなかった。

アナリストらによれば、中国から米国へのハッカー攻撃回数は過去2年で90%減少した。しかも急激な減少は米中がサイバー安全合意を締結した後に生じている。

先に伝えられたところによると、今年6月に米民主党のサーバーにハッキングしたことを認めた Guccifer 2.0 と名乗るハッカーは、盗んだデータの一部を新たに公開した。

<http://sptnkne.ws/bZXd>

## 日本の年金基金、Brexit 背景に 520 億ドル損失

(スプートニク 2016年08月26日 22:35)

© REUTERS/ Lee Jae-Won <http://goo.gl/4PU7vX>

年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の第1四半期における損失は5.2兆円に上っている。2四半期連続の大損失となる。国内株価の下落や円高が背景にある。26日、データが公表された。

収益率はマイナス3.88%、評価額はマイナス5兆2,342億円で、6月末の運用資産は129兆7,012億円。14年6月末以来の低水準となった。

高橋則広理事長によれば、5月の米雇用統計が事前予想を大きく下回ったこと、英国のEU離脱投票を受け急激に円高が進み、世界の株価が一時的に大きく下落したことなどが理由だという。

資産別では、評価額は、国内株式が収益率マイナス7.38%と評価額マイナス2兆2,574億円、外国株式が収益率マイナス7.76%と評価額マイナス2兆4,107億円、外国債券が収益率マイナス8.02%と評価額マイナス1兆5,193億円となっている。円高による目減りを価格の上昇で補い切れなかった形。国内債券のみ収益が増え、各1.91%と9,383億円となった。

6月末、円相場が3月末と比べて主要10通貨のすべてに対して上昇した。英国の国民投票でEU離脱派が勝利した6月24日には対ドルで一時7円超の円高に。国内株は大幅に下落、その一方で日本銀行のマイナス金利政策を受けた国内債の利回りは低下。GPIFには向かい風となった。

先に伝えられたところによると、日本銀行は、0.1%のマイナス金利を維持する方針。金融政策決定会合の結果が発表された。

<http://sptnkne.ws/bZZ6>

## ロシア記者団、参加する可能性があるシリアの人道作戦について、日本外務省にコメントを求めた (スプートニク 2016年08月27日 00:38)

© Sputnik/ Grigoriy Sisoiev <http://goo.gl/cpylwi>

ロシアの記者団はロシア国防省によるシリアのアレッポでの人道作戦参加の日本への提案について、ロシア国防省と日本の外務省に質問をしたが、コメントは控えられた。

しかし、日本外務省は、日本政府は難民を受け入れているシリア、イラク、近隣諸国に財政援助をしていると指摘した。

外務省は、シリア、イラク、近隣諸国への支援プログラムはシリア危機が始まった時点から16億ドルを超えたと述べた。日本の外務省は、ロシア語からの直訳では次のように強調した。

「このような支援により、我われは再建とシリア人同士の対話継続に向けられた環境作りに貢献したい。」

<http://sptnkne.ws/bZZS>

## プーチン大統領とエルドアン大統領、電話会談でシリア情勢を討議

(スプートニク 2016年08月26日 23:03)

© Sputnik/ Alexei Druzhinin <http://goo.gl/9P5jm8>

ロシアのプーチン大統領とトルコのエルドアン大統領は電話会談でシリアの状況を討議した。クレムリン広報が述べた。「トルコ側の主導でロシアのプーチン大統領とトルコのエルドアン大統領の電話会談が実現した。両リーダーは、シリア情勢に関する見解を詳細に交換した。テロとの闘いについて共同の努力をとる重要性を指摘し合った」という。

<http://sptnkne.ws/cajF>

## 日本、サハリンの森林にスパリゾートを建設

(スプートニク 2016年08月27日 00:43)

© 写真: Public domain <http://goo.gl/EhD17a>

日本企業「丸新岩寺」がサハリンでスパ施設を建設する意向。金曜、サハリン州知事報道官が述べた。複合体の建設のための土地の提供に関する契約は9月上旬にウラジオストクで開催される第二次東方経済フォーラムで署名される計画。複合体はユジノサハリンスクの森林地帯「観光渓谷」

境界内の 2.4 ヘクタールの土地に建設される。すでに「ほのかサハリン」と名称が決まっている。

日本の会社はここで、グローバルスタンダードのサービスを適用する予定。休息と療養のための施設は通年で利用できる。すでに、同じエリア内に異なる機能や温度制御をもつプール、浴場、サナ・ジャグジー付エリア、休息用の場所、日本庭園が配置されることが判明している。訪問者は、美容と健康回復向けの施術、スパサービス、各種のマッサージを提供される。「ほのか」では、レストラン、カフェ、子供の遊び場も機能する。建設は投資家の資金のみで行なわれる計画だという。

<http://sptnkne.ws/cajM>

### 勢力を伸ばす日本共産党の秘密はどこに？

(スプートニク 2016年08月27日 08:33 エフゲーニヤ・モイセーエワ)

© Fotolia/ Faula <http://goo.gl/orZ7Qh>

ロシアでは、9月18日に実施される下院選挙を前に、選挙運動が今ピークを迎えている。この選挙には、ソ連共産党の後継政党であるロシア連邦共産党（КПРФ）も参加している。同党に対する有権者の支持率は、ここ数年安定し、18%台を維持している。欧州諸国の共産党について言えば、その支持率は、ここ最近下がっており、イタリアではすでに何度かの選挙で連続して、共産主義を党名に掲げた政党は議席を獲得できていない。フランス共産党の支持率も、毎年下がっている。スペイン共産党の影響力について言えば（統一左翼の連合体でなく）自主的な勢力として、ゼロをやっと超えているに過ぎない。これに対し日本共産党は、興味深いことに、自分達の勢力を保っているだけではなく、それを強めている。

日本共産党の党員数は毎年増えており、現在およそ 32 万を数えた。そのさい党員のおよそ 2 割は若者で占められ、さらに 45%以上が女性である。先月 7 月実施された参議院選挙で、日本共産党は得票率 10.7%で、前回より 3 つ増やし 14 議席を獲得した。この結果は、2014 年の衆議院選挙で明らかになった傾向を確認した。この選挙で日本共産党は得票率 11.4%で 21 議席を獲得、衆議院での議席数を二倍半以上に増やした。

歴史学博士でサンクトペテルブルグ国立大学教授を務めるルスラン・コスチューク氏は、スプートニク日本記者の取材に対し「日本共産党は、その影響力の点で、社会民主党も、また新しい政治勢力の数々もはるかに凌いでいる。グローバルな金融経済危機の時に、生き残る能力を見せたばかりでなく、自らの政治及び選挙における力を強めることができたのは、まさに共産党だった」と指摘し、次のように続けた—

「これは、日本共産党が、現代の日本社会において、政治の中で支配的な保守主義に代わるものをはっきり示していることと関係がある。日本の共産主義者達は、米国への日本の過剰な依存に反対し、大分前から、米軍基地の撤去を求めている。現在日本共産党の戦争反対運動の柱となっているのは『日本の軍国化』を許さないという要求だ、つまり、平和憲法の性格を変え、

日本軍を復活させようとの保守主義者達の試みへの抵抗に力点が置かれている。また日本共産党はTPPへの調印に反対し、国家を超えた企業活動の民主化、労働者の社会的権利の拡大を求めている。さらに同党は、原子力エネルギーに反対しており、彼らの実際的な活動において『エコロジー』的要素が占める割合は大変大きい。党の掲げるスローガンは『左派』の学生や若い労働組合活動家の共感を呼んでいる。党機関紙『赤旗』は、エコロジー問題や与党の職権乱用などに関する暴露記事で人気がある。」

かつて国際共産主義運動において最も影響力を持つ2つの政党であったソ連共産党と中国共産党が対立する中で、日本共産党は、どちらの側にも与しなかった。彼らは現在に至るまで、ロシア及び中国の共産党から距離を置いている。日本の共産主義者らは、中国との関係先鋭化に反対しながらも「中国式社会主義」の本質を批判的に受け止め、尖閣諸島の問題では与党自由民主党の立場を支持している。また日本共産党は、朝鮮民主主義人民共和国の側からしばしばなされる軍事的挑発行為にも、厳しく反対している。なおクリルについて言えば、日本共産党は、もう10年以上にわたり、日本への南クリルすべての引き渡しを求めている。

日本社会の高齢化が容赦なく続く中で、若者の多くは、政治に関心を持っていない。日本共産党は、そうした中で強い支持を得るため、かつて人気を博した「うたごえ運動」のような伝統的なものや、現代的なもの、マスコットやソーシャル・ネットワークなどを利用しながら、様々な運動をすべて利用している。

多くの専門家は、日本共産党の成功は、有権者が既存の政党にすっかり飽きて疲れてしまったことに関係していると見ている。インタビューの最後にコステューク教授は「保守的で階層的な日本社会において共産党は、何百万もの人々にとって、様々な領域での状況改善に向けた期待を抱かせる勢力と感じられているのだ」とまとめている。

<http://sptnkne.ws/cakt>

## ウクライナ代表 クリミアはロシアの一部と認める

(スプートニク 2016年08月27日 09:31)

◦ Sputnik/ Vladimir Astapkovich <http://goo.gl/QIRahJ>

ミンスク会談のウクライナ代表、ヴィクトル・メドヴェドチュク氏が、クリミアはロシアの一部だと認めた。ラジオスバボーダが報じた。メドヴェドチュクは次のように述べた。「しかし事実上は残念ながら、ロシアに属している」。また氏は、クリミアは再びウクライナの一部になることはないだろうと指摘し、次のように述べた。

「もしウクライナ政権がクリミアを取り戻したかったのなら、電気水道供給を停止せず、経済バリエードを声明せず、鉄道運行を閉鎖しなかっただろう。」

先に伝えられたところによると、ロシア外務省ノマリヤ・ザハロヴァ公式報道官は、ロイター通信がクリミア観光について観光客激減で観光シーズンは失敗と書いた記事を掲載したことについて、記事は「注文を受けて書かれたポートレート」と手厳しく非難した。

<http://sptnkne.ws/can5>

## 日本のグループタチバナクインテットはクリミアのジャズ際参加に対する制裁を恐れない

(スプートニク 2016年08月27日 10:27)

© Sputnik/ Evgenya Novozhenina <http://goo.gl/SOEX99>

国際ジャズ際「コクテベリジャズパーティー (Koktebel Jazz Party)」に参加する日本のジャズグループ Tachibana Quintet は、制裁の可能性を恐れていない。

プレスカンファレンスでメンバーの1人コントラバス奏者のただのゆかさんは次のように述べた。

「もちろん、クリミアを取り巻く情勢は聞いたことがあります、個人的には何の心配もしていません。私には「クリミアに？なんでまた！」と言ったロシア人の知り合いがいますが、日本人にはこれはなんらの問題も引き起こしません。」

Tachibana Quintet のメンバーにはただのさん以外に、ボーカルの Noon さん、ピアニストのかとうまるたさん、ドラムのおがわけいたさん、とランペッターのくろだたきやさんがいる。

Tachibana Quintet のメンバーはまた、クリミア、特にコクテベリ村の自然の美しさに感服していると述べた。

Koktebel Jazz Party とは、同名の村コクテベリで毎年開かれる国際ジャズ際だ。フェスティバルはジャーナリストのドミトリー・キセレワ氏の個人の取り組みとして始まった。

<http://sptnkne.ws/can9>

## ロシアと米国、シリア協議の最終ラウンドを終了

(スプートニク 2016年08月27日 15:55)

© Sputnik/ Eduard Pesov <http://goo.gl/1kgg4u>

ロシアと米国はジュネーヴでシリア和平交渉の最終ラウンドを終了させた。ロシアのラヴロフ外相と米国のケリー国務長官の会談でシリア危機の解決の進展が見られた。

「仕事は公正に、緊張感をもって、生産的に行われた。今日、私たちは、作業工程、前進への道を明らかにできた。停戦合意が現実のものとなることを目指したテクニカルな議論の最終ラウンドを終える」とケリー氏が記者会見冒頭で述べた。金曜の協議は、「実り多ク建設的」だったと同氏。

一方ラヴロフ外相は、モスクワとワシントンは、シリアについて「ますます多くの一致点を」見つけることができていることを強調。ロシアと米国はシリアの危機を解決するためにいくつかの重要な前進を遂げたと指摘した。両国外相会談はジュネーヴ湖岸のウィルソン大統領ホテルで12時間続いた。

先に伝えられたところによると、ロシアのプーチン大統領とトルコのエルドアン大統領は電話会談でシリアの状況を討議した。

<http://sptnkne.ws/canq>

### 「全部プーチンのせい」：米紙、クリントン演説を嘲笑

(スプートニク 2016年08月27日 19:35)

© AP Photo/ Keith Srakocic <http://goo.gl/5iQvFz>

米国の保守的なニュースポータル Breitbart は、ライバルのドナルド・トランプ氏と Breitbart 自身を激しく非難した米国大統領候補ヒラリー・クリントン氏の演説を嘲笑した。ポリティコが報じた。

クリントン氏は木曜、トランプ氏の親ロシア姿勢を非難し、ロシアのプーチン大統領は「グローバルな過激ナショナリズムのゴッドファーザー」だ、とした。クリントン氏はポータル Breitbart の元代表でトランプ氏の選挙やキャンペーンのゼネラルマネージャー、スティーブン・バノン氏をも批判した。

Breitbart はアルミホイル製の帽子をかぶったクリントン氏の加工画像を Twitter に掲載してこれに応じた。有害な放射線から脳を保護すると民間に信じられているアルミ帽子は陰謀説を信ずる人の属性となっている。画像に添えて、「すべての背後にはプーチンがいる」と記された。

大統領の座をめぐる闘争でクリントン氏は繰り返し「ロシアファクター」を使っている。ウィキリークスの創設者ジュリアン・アサンジ氏はクリントン氏の選挙本部は誰をも「ロシアのスパイ」扱いしており、そのキャンペーンは「反ロシアヒステリー」だと称した。

[twitter.com/](http://twitter.com/) <http://goo.gl/NQoZ0Q>

<http://sptnkne.ws/carA>

## 五輪銀メダリスト、病気の少年の手術のためメダルを売却

(スポーツニク 2016年08月27日 22:39)

© REUTERS/ Ivan Alvarado <http://goo.gl/DJsDZW>

リオ五輪円盤投げで銀メダリストとなったポーランド選手ピョートル・マラホフスキー氏は、病気の少年を助けるためにメダルを売却した。選手が19日にFacebookで述べたが、メディアはしばらく後にそれに注目を集めた。

「五輪メダル獲得はアスリートの夢だ。金が最も価値あるメダルであることは明らか。私はそれをとるためにすべてをした。今回はだめだった。眼窩腫瘍を2歳から患っている少年の母親が私に近づいてきた。私は助けることを決め、オークションにメダルを出品した。収益はすべて少年の治療に当てられる」と選手。

メダルは8万4,000ドルで競売にかけられた。ポーランドで最も裕福な家族のひとつがこれを獲得。資金はニューヨークで行われる手術に向けられた。その費用は12万6,000ドルだった。

<http://sptnkne.ws/caus>

## トルコ新聞報道：撃墜されたスホイ24は、1年前シリアでのトルコの作戦開始を妨げた

(スポーツニク 2016年08月28日 00:57)

© AFP 2016/ Bulent Kilic 政治 <http://goo.gl/JbYz4n>

「イスラム教の聖職者ギュレン師の支持者達の存在とロシア軍機スホイ24撃墜事件があったため、トルコは2015年中に、シリアのジャラブルスでテログループ「ダーイシュ（IS、イスラム国）」に対する作戦を開始できなかった」—トルコの新聞「ヒュリエト」は、匿名のトルコ高官の発言を引用して伝えた。高官は、次のように述べた—

「トルコ当局は、2年以上、地上作戦に取り組んできた。我々は、あの地に足を踏み入れる時に近づいていた。2015年6月トルコは、米国主導の有志連合国と、ジャラブルスをダーイシュの戦闘員らから解放するため地上侵攻作戦を開始する可能性について話し合った。しかし、その後クダターに加わった一部の指揮官達は、ダーイシュに対しトルコが立ち向かおうとする、このプランを台無しにしようと試みた。2015年11月のロシア軍機スホイ24撃墜事件もまた、侵攻作戦の開始に影響を与えた。この事件の後、空中からの支援が不十分になったため、実際上我々のプランの実現は不可能になってしまった。」

<http://sptnkne.ws/ca3z>

## 米マスコミ ロシア製戦車を世界最強トップ5に含める

(スプートニク 2016年08月28日 01:09)

© Sputnik/ Ramil Sitdikov <http://goo.gl/wcaYCB>

ロシアの主力戦車T-90が、専門誌「ザ・ナショナルインタレスト」の選ぶ世界最強の戦車トップ5入りした。

米国の軍事専門家でコラムニストのカール・ミゾカミ氏は、T-90の競争上の主な利点として、標的を撃破するための距離を挙げている。また搭載されたミサイルが敵の装甲を貫通する能力の高さも評価された。これは、対戦車ミサイル「レフレクスM(9K119M)の」レーザー誘導弾で、5キロ離れた場所から700ミリ以上の均質な装甲を撃ち抜く力を持っている。

なおミゾカミ氏によれば「冷戦終了後、議論の余地なく戦車の王様となったのは、米国の「アダムスM1」である、とのことだ。またミゾカミ氏は、現代欧州最高の戦車として、ドイツの「レオパルド2」を挙げた。この他トップ5には、イスラエルの「メルカワ4」そして英国の「チャレンジャー2」も選ばれた。

先に伝えられたところによると、ナショナル・インタレストはロシアの戦闘機を「空の王」と呼んだ。

<http://sptnkne.ws/caxJ>

## ロシア大使 ラトビアにおける嫌ロシア感情を指摘

(スプートニク 2016年08月28日 02:19)

© Fotolia/ Mbonaparte <http://goo.gl/D6e8pl>

「ラトビアのマスコミの中には『嫌ロシア的な雰囲気』が感じられる。またラトビアの警察官らは、ロシアの民間組織に対し偏見を持って接している」—ロシアのアレクサンドル・ヴェシニャコフ駐ラトビア大使は、このように指摘した。ヴェシニャコフ大使は、ラトビアの首都リガのモスクワの家で27日に開かれたロシア同胞会議であいさつに立ち、次のように述べた—

「現在ラトビアのマスメディアの報道には『嫌ロシア的感情』が見られる。また特に治安維持諸機関においては、ロシアの非政府系組織や世論の代表者達に対する偏見がある。ロシアを残りの世界から絶縁させようとする試みがなされている。一部の国々は、ロシアの孤立化を試みているが、そうしたことは不可能だ。」

<http://sptnkne.ws/ca35>



## ウクライナ航空大学長のもとで金塊9つ見つかる

(スプートニク 2016年08月28日 05:06)

© AP Photo/ Thomas Kienzle <http://goo.gl/6oHVYV>

ウクライナ国家航空大学の学長代行だったウラジーミル・ハルチェンコ氏の自宅が、家宅捜査を受けた。27日土曜日、ウクライナ反汚職ビューローのサイトが伝えた。捜査班は、彼の自宅で、総額およそ500万グリヴナ（約20万ドル）の現金を発見、押収した。その他、特に、2グラムから20グラムの金塊9つも見つかった。ハルチェンコ氏は、伝えられるところでは、17万ユーロの賄賂を受け取ったかどで、8月26日に拘束された。なお同日ウクライナ教育科学省は、彼を学長代行の職から解いている。

先に伝えられたところによると、巨額の賄賂を受け取ったとして逮捕されたウクライナ、ニコラエフスク州のニコライ・ロマンチュク副知事の家宅捜索で床下に隠しトンネルが発見。隠しトンネルに置かれた秘密の金庫からは金、聖像画、古美術品が出てきた。

<http://sptnkne.ws/ca37>

## トルコ軍 シリアで最初の損失

(スプートニク 2016年08月28日 15:22)

© AFP 2016/ Bulent Kilic <http://goo.gl/KYpKQi>

シリアでトルコの戦車が、クルド人民防衛隊（YPG）が支配する領域から砲撃を受けた。ロイター通信が、トルコの軍消息筋の情報を引用して伝えた。先にAFP通信は、トルコの戦車2台がシリアのジャラブルス近郊でロケット弾による砲撃を受けたと報じた。なおロイター通信の情報によると、砲撃を受けたのは戦車1台。結果、兵士1人が死亡、3人が負傷した。トルコは先週シリア北部ジャラブルス周辺で「ダーイシュ（IS、イスラム国、ロシアで活動が禁止されている）に対する「ユーフラテスの盾」作戦を開始した。シリア政府はトルコの行動を主権の侵害と非難した。

<http://sptnkne.ws/caHM>

## 世論調査：独住民の半数がメルケル首相の続投に反対

(スプートニク 2016年08月28日 16:54)

© AFP 2016/ ODD ANDERSEN <http://goo.gl/IyeCgi>

ドイツの住民の半数が、メルケル首相の4期目続投に反対している。新たな世論調査の結果明らかになった。世論調査会社 Emnid がビルト・アム・ゾンターク紙の依頼で実施した世論調査による

と、メルケル氏の4期目続投を支持しているのはドイツ人の42%。なお11月の世論調査では、支持すると回答したのは45%、反対は48%だった。

8月25日に実施された501人を対象とした世論調査の質問は、「アンゲラ・メルケル氏が2017年の選挙後に首相を務めることを望みますか?」というものだった。先にメルケル首相は4期目を目指して立候補するか否かを2017年春に発表すると伝えられた。またメルケル首相は、対ロシア制裁についてまだ解除すべきではないと考えていると報じられた。

<http://sptnkne.ws/caHQ>

### **ウクライナでロシア人ジャーナリストが遺体で発見される**

(スプートニク 2016年08月28日 17:33)

© Sputnik/ Stringer <http://goo.gl/o0uknb>

ウクライナの首都キエフの住宅でロシア人ジャーナリストのアレクサンドル・シェチニン氏が遺体で発見された。キエフの警察が確認した。キエフ警察コミュニケーション課の責任者オクサーナ・ブリシク氏が自身のフェイスブックで伝えた。

住宅のバルコニーで頭部に銃弾で撃たれてできた傷のある男性が見つかったという。ブリシク氏は、「法医学鑑定家による現時点での結論によると、死亡時刻は(8月27日の)20時から21時30分とみられている」と伝えた。

ブリシク氏によると、警察は現場検証の際に空の薬莢や銃を押収した。なお住宅のドアは閉まっていたという。ブリシク氏によると、通報があったのは8月28日にかけての深夜。警察は男性が自殺した可能性も含めて調査を行っている。

[twitter.com/](https://twitter.com/) <http://goo.gl/Gc9teB>

ウクライナで外国人ジャーナリストが死亡したのは今回が初めてではない。先に著名なジャーナリストのシェレメト氏がキエフで死亡したと報じられた。

<http://sptnkne.ws/caHS>

### **トルコ南東部最大都市の空港にロケット弾が撃ち込まれる**

(スプートニク 2016年08月28日 17:47)

© REUTERS/ Azad Lashkari <http://goo.gl/S5Tp8f>

27日深夜、トルコ南東部最大都市ディヤルバクルの空港にロケット弾が撃ち込まれた。ロイター

通信が報じた。警察の検問所にロケット弾4発が撃ち込まれた。空港の利用客や職員はターミナルに避難した。なお死傷者はなく、運行ダイヤに乱れも生じなかった。ディヤルバクル空港は主に国内線で使用されている。

今のところ犯行声明は出ていない。同地域では30年にわたってクルド人反政府勢力とトルコ治安部隊との衝突が続いている。事件が起こる3日前、トルコはシリア北部でテロやクルド分離主義に対する軍事作戦を開始した。

<http://sptnkne.ws/caHT>

### イタリアの議員らがクリミアを訪問する意向

(スプートニク 2016年08月28日 19:16)

© Sputnik/ Sergey Malgavko <http://goo.gl/rmFHzh>

イタリアの議員たちがクリミアを訪問する意向。ロシア下院（国家会議）国際問題委員会のプシコフ委員長が明らかにした。プシコフ委員長は27日、ツイッターに「フランスの議員たちに続いてイタリアの議員たちがクリミアを訪問しようとしている。西側はクリミアの孤立を維持し続けることはできないだろう。そこに住む人々は欧州の一部だ」と書き込んだ。7月末、ティエリ・マリアーニ氏率いるフランス国民議会の議員11人がクリミアを訪問し、ロシア下院C I S問題委員会のスルツキー委員長が同行した。

<http://sptnkne.ws/ca8u>

### デイリーミラー：ポクロンスカヤ氏は「次代プーチン」

(スプートニク 2016年08月28日 21:24)

© AFP 2016/ Max Vetrov <http://goo.gl/e5aTPH>

クリミアのナタリア・ポクロンスカヤ検事は「統一ロシア」から下院に立候補すると述べた。英紙デイリーミラーより。ポクロンスカヤ氏は「次代プーチン」となり、2018年の大統領選に立候補する可能性さえあると英紙。

先にポクロンスカヤ氏は権威ある経済誌フォーブスで「最も有望な政治家」のリストに入った。同氏は半島独立の思想やウクライナ当局の批判で知られる。ウクライナの現指導部を「灰から出た悪魔」と呼んだこともある。

<http://sptnkne.ws/caAq>

## ドイツ副首相：自由貿易圏に関する米国とEUの交渉は決裂した

(スプートニク 2016年08月28日 23:47)

© AP Photo/ Michael Sohn <http://goo.gl/u0h1TN>

ドイツ副首相で経済大臣のジグマール・ガブリエル氏は、EUと米国間の自由貿易圏に関する交渉は決裂したと述べた。28日AP通信が報じた。ガブリエル氏によれば、「誰が認めなかろうと」交渉は事実上の決裂。14ラウンドの交渉で当事者はいわゆる大西洋貿易投資パートナーシップ協定のいずれのポイントについても合意できなかったと同氏。ガブリエル氏は、米国との交渉の結果は、先に結ばれたEUとカナダの自由貿易圏の結果と大きく異なるという。カナダとの合意はすべての当事者にとってより公平であると副首相。

<http://sptnkne.ws/caCD>

## 専門家：水面下からのミサイル発射で北朝鮮が侵略を撃退する能力を本当に持っていることが示された

(スプートニク 2016年08月29日 01:25)

© REUTERS/ KCNA <http://goo.gl/2TOIWo>

水面下からの弾道ミサイル発射成功は北朝鮮が将来的に潜水艦発射ミサイルを艦隊に搭載する可能性をもたらす。ロシア科学アカデミー東洋学研究所朝鮮モンゴル研究室のアレクサンドル・ヴォロンツォフ室長が述べた。今回の成功で北朝鮮は「強硬な声明に侵略を撃退する能力を本当に持っているという物質的基礎の裏付けがあることを示した」。北朝鮮の潜水艦発射式ミサイルは地域の米軍基地をも射程に収めている可能性があるという。「北朝鮮はアクティヴな防衛遂行および韓国さらには地域の他の国々の米軍基地に対する攻撃能力を拡大する」。「最大の相手国との対話と交渉が不在な中、北朝鮮は何らの制限もなく、逆に安全保障強化の必要性を見だしている」。先に金正恩は、潜水艦からの弾道ミサイル発射試験中、北朝鮮は「米国大陸領土を確実に掌握している」と述べたと報じられていた。

<http://sptnkne.ws/caHV>

## パラリンピックから排除されたロシア人の分のライセンス、米国選手に与えられる

(スプートニク 2016年08月29日 03:53)

© Sputnik/ Maksim Bogodvid <http://goo.gl/U5Kr0N>

ロシア代表チームの失格の結果、リオ・パラリンピックのライセンスが22人の米国選手に譲渡される。米国パラリンピック委員会の発表をリアーノーヴォスチが伝えた。国際パラリンピック委員会

(IPC)は、リチャード・マクラレン氏率いる世界アンチ・ドーピング機構(WADA)の独立委員会の報告書の審議の末、ロシア・パラリンピック委員会(RCC)およびロシア選手を2016年のパラリンピックから失格させた。23日、スポーツ仲裁裁判所は、ロシア選手の上訴を棄却した。

もともと米国は267通のライセンスを持っており、ロシアと米国の代表団は今大会で最大となるはずだったが、米国選手はこれで289人となった。大会への出場者数は米国史上最大。先に伝えられたところによると、ロシアは、スイスの連邦裁判所で、リオデジャネイロ・パラリンピックからロシア選手団を除外する決定に異議を唱える。

<http://sptnkne.ws/caHX>

### **専門家：西側のロシア悪魔化は冷戦時代を超えている**

(スプートニク 2016年08月29日 06:01)

© Sputnik/ Vladimir Fedorenko <http://goo.gl/xCvpxH>

ロシアを悪魔化する西側の政策は冷戦時代を超えている。ロシア下院国際問題委員会のアレクセイ・プシコフ委員長がモスクワで開催された世界フォーラム「ロシアとの団結」で述べた。「もちろん単なる冷戦ではないが、西側諸国のある種の外交政策はたしかに冷戦を思わせる。しかしもちろん、プロセスは異なる性格を有し、冷戦時代のようなふたつの理念政治と経済システムの衝突にはなっていない。しかし衝突の激しさの度合いは冷戦時代より高い。ロシアを悪魔化するキャンペーンがこれほどのスケールであったことはない。ロシア指導部の悪魔化に関してこれほど強烈な努力がなされたことはない」と委員長。

先に米国のマスコミはトランプ氏があまりにも親ロシア的立場であると非難したヒラリー・クリントン氏の演説を嘲笑した。

<http://sptnkne.ws/caHZ>

### **テレグラフ紙、ウクライナ紛争を全く解決できない西側の無力さを非難**

(スプートニク 2016年08月29日 08:14)

© Sputnik/ Valeriy Melnikov <http://goo.gl/7EshDW>

ウクライナ危機が徐々に前面に戻ってきているが、「ウクライナの悲劇」はそもそもの始まりから西側のせいで悪化した。英紙テレグラフの評論員クリストファー・ブッカー氏が述べた。「2013年から2014年の冬にかけてウクライナを引き裂く悲劇が起こった唯一の原因は、米国の支援を受けてEUが常に拡大を続ける帝国にウクライナを含みこもうとする厚かましい努力だ」という。

そうした西側の企みにとって親ロシアで民選のヤヌコヴィチ大統領が追われ政権に民選ではないがEUや米国に近い「味方」がついたことは西側の「幸い」だった。しかし西側は、そうした事象のもたらす結果をよく考慮してはいなかった。

そうしてほぼ3年の内戦を経て、欧米諸国の指導者たちは、自分自身が誰よりも責任がある混乱をどうするかを理解することにつき、「屈辱的なまでに無能」であり続けている、とブッカー氏。先に伝えられたところによると、ミンスク会談のウクライナ代表、ヴィクトル・メドヴェドチュク氏が、クリミアはロシアの一部だと認めた。

<http://sptnkne.ws/caJc>

### **ナショナル・インタレスト、米国がロシアと中国との「二重の戦争」を遂行できるかを語る**

(スプートニク 2016年08月29日 11:17)

© Flickr/ Samuel King Jr <http://goo.gl/aTfexi>

米誌ナショナル・インタレストのコラムニストロバート・ファーリー氏は、米国が2つの主要な敵であるロシアと中国と同時に戦うとしたらそれはどのようなものになるかを解き明かした。ファーリー氏は、「二重の戦争」が始まった場合、米国は第二次世界大戦中と同じように行動するという。ヨーロッパ戦線は米陸軍、艦隊は太平洋での作戦に集中する。米空軍は両面で支援役を果たし、核戦力はロシアが戦術または戦略核兵器を使用することを決定した場合の備えに回される。

ファーリー氏によると、北大西洋におけるNATOとの戦争に関してモスクワができることは非常に限られており、加えて、ロシアは政治的にそれを望まない。すると空母、潜水艦、水上船の大半は太平洋とインド洋に集中することになる。これにより米国は中国のA2/AD（アクセス阻止および制限システム）を直接叩き、北京のトランジット航路を遮断することができる。

アナリストは、ワシントンはその軍隊の力と北大西洋同盟の力で二つの軍事作戦舞台で二つの戦争を行うことが可能であるとしている。先にロシアの専門家は、ロシアを悪魔化する西側の政策は冷戦時代を超えているを発表した。

<http://sptnkne.ws/caMd>

### **メルケル独首相、「制裁解除の潮時ではないが、議題には上がりうる」**

(スプートニク 2016年08月29日 14:40)

© AP Photo/ Markus Schreiber <http://goo.gl/900XRr>

メルケル独首相は対露制裁を解除すべき時はまだ到来していないとの見解を表した。この声明が

表されたのは独テレビARDからのインタビューの中。解除ができない理由についてメルケル首相は、ミンスク合意の実施状況を挙げ、これに独仏は不服を示していると語った。一方でメルケル首相は「ミンスク交渉で双方に進展が見られた場合、（制裁解除の）テーマはもちろん議題に挙げられる」と語っている。

<http://sptnkne.ws/caMn>

### **露パラ委員会会長、ロシア選手ライセンスの米国譲渡は違法**

(スプートニク 2016年08月29日 15:45)

◎ Sputnik/ Anton Denisov <http://goo.gl/BT9zFf>

リオデジャネイロのパラリンピック出場取り消し処分を受けたロシア人選手のライセンスを他国へ譲渡するのは違法。ロシア・パラリンピック委員会のウラジーミル・ルキーン会長の声明をロシアのスポーツ紙「R-スポルト」が報じた。

前日の28日、米国パラリンピック委員会は、パラリンピック出場を取り消された20人を超えるロシア人選手のライセンスが自国へ譲渡されると発表していた。

<http://sptnkne.ws/caNz>

### **イラン、露対空ミサイルの供給を米国が総力で阻止の企て**

(スプートニク 2016年08月29日 15:56)

◎ REUTERS/ President.ir <http://goo.gl/mIfz3X>

イランの最高指導者ハメネイ師はハタム・アル・アンビヤ対空防衛基地の司令部との会談で、米国は地対空ミサイルシステムS-300の供給を断つため総力を傾けたと語った。地元マスコミが報じている。

ハメネイ師は、S-300は国防に徹したシステムであり攻撃兵器ではないと指摘し、イランは相手に攻撃の企みを起こさせないよう自国の国防ポテンシャルを拡大せねばならないと語った。ハメネイ師はまた、イランへのS-300供給をめぐるこうした騒ぎはいつもイラン国民に向けられる敵の悪意の現れと指摘している。ハメネイ師の声明では、ロシアのS-300のイランへの売却は米イラン間の核取引には違反していないことが強調された。

<http://sptnkne.ws/caMR>

## イラン、S-300 ミサイルを核施設周辺に張り巡らせる

(スプートニク 2016年08月29日 17:24)

© Sputnik/ Kirill Kallinikov <http://goo.gl/KhS1Ml>

イランはロシアから輸入したS-300 ミサイルをフォールド核施設周辺に配置。これについて28日、イラン国営テレビ放送でファルザド・エスマニリ対空防衛システム司令官が明らかにした。エスマニリ司令官はミサイル配備のおかげで核施設の防衛は常時カバーされた状態になったため、イラン上空は「地域で最も安全な空域に数えられる」と語っている。インターファックス通信が報じた。これより前、同国のハメネイ師は米国がイランのS-300 ミサイルの購入を邪魔しようとした事実を明らかにしている。ハメネイ師はこれを米国はイランの自国防衛を望まないからだと指摘した。

<http://sptnkne.ws/caPM>

## 韓国は原子力潜水艦を配備すべきだとの主張は「無責任」

(スプートニク 2016年08月30日 00:52)

© Sputnik/ Vitaliy Ankov <http://goo.gl/9bImBm>

韓国与党セヌリ党の23人の議員が参加する党内グループは29日、北朝鮮に対抗するため韓国海軍は原子力潜水艦を保有すべきだと主張した。聯合ニュースが報じた。先週、北朝鮮は潜水艦発射弾道ミサイルの発射に成功した。ミサイルは日本の方向へ500キロ飛行した。

グループは、「韓国軍は長期潜水や先端探知の機能、攻撃能力を備えた原子力潜水艦を直ちに配備し北のSLBMによる挑発を根本から防ぐべきだ」との声明を表した。聯合ニュースが報じた。海軍高官を歴任し現在はキョンナム大学付属極東研究所研究員を務める韓国の軍事アナリストキム・トニョプ氏はスプートニクのインタビューで、次のように述べた。

「北朝鮮の潜水艦発射弾道ミサイルの発射への応答としての原潜配備に関する声明は極めて無責任で、安全保障方面での無能ぶりを示すものだ。もし韓国が戦時に自軍が機動的に運用できないTHAADを自国に配備し、日米と軍事同盟を強化するのみならず、原潜まで持つというなら、ロシアと中国は脅威を覚えないではいけない」と同氏。

「膨大な軍事予算を持ちながら、我々はなぜか北朝鮮弾道ミサイルに対し無力であり、韓国指導部は特に配備しても意味のないTHAADを万能薬のように見なしている。弾道ミサイルの脅威が現実化した今になると彼らは今度は原潜というお気に入りのカードを持ち出したのだ。北朝鮮弾道ミサイルの脅威緩和の観点からは、韓国に原潜が配備される、されないに對した差異はない」と同氏。

<http://sptnkne.ws/caVt>



## ロシアは 2018 年冬季パラリンピックにも出場できない恐れ

(スポーツニク 2016 年 08 月 29 日 20:46)

© Sputnik/ Igor Zarembo <http://goo.gl/w0xizl>

ロシア・パラリンピック委員会のリマ・バタロヴァ副会長は、ロシア人選手らは 2018 年の冬季パラリンピックにも出場が禁じられる恐れがあるとする声明を表した。バタロヴァ副会長は自身もパラリンピックで 13 の金メダルの獲得経験がある。

以下、ロシアのスポーツ紙「R-スポーツ」が引用して報じたバタロヴァ副会長の声明。

「一番ひどいことは我々が国際パラリンピック連盟のメンバー権をはく奪されたことだ。これはつまり、来年我々は競技に参加して参加割当枠を獲得することができないということで、これでは 2018 年の冬季パラリンピックは我々を素通りしてしまう。相手は（国際パラリンピック連盟への）参加権をどうしたら取り戻せるのかその条件さえ示さない。我々が何をすべきなのか、クレームさえ提示されれば、この先何をすべきかがわかるのだが。片方の頬を打たれた場合、次の頬を差し出すのではなく、最後まで裁判で争わねばならない。自分で自分たちを守らねばならない。」

先に伝えられたところによると、ロシア代表チームの失格の結果、リオ・パラリンピックのライセンスが 22 人の米国選手に譲渡された。

<http://sptnkne.ws/caVD>

## 米海兵隊員 欧州で道に迷って人形博物館に入る

(スポーツニク 2016 年 08 月 29 日 21:23)

© AFP 2016/ Cristina Quicler <http://goo.gl/Q6oLtG>

米海兵隊員 2 人が、地名を間違えて欧州で道に迷った。独 Deutsche Wirtschafts Nachrichten が報じた。

Deutsche Wirtschafts Nachrichten によると、海兵隊員は先週、ドイツにあるラムシュタイン基地で訓練を終了した後、旅行をすることにした。2 人は最初の旅行先の一つとして西ヨーロッパのリヒテンシュタイン公国 (Liechtenstein) の首都ファドゥーツを選んだ。だが海兵隊員は間違えて Liechtenstein とアルファベットが一文字違う独ザクセン州の小さな町リヒテンシュタイン (Lichtenstein) に到着した。

道に迷ったことに気付いた海兵隊員たちは、地元の人形とおもちゃ博物館に入り、博物館の所有者イェルク・フレミングさんに目的地である Liechtenstein への行き方を尋ねた。話している最中

に間違いが明らかになり、海兵隊員たちは目的地から北東に600キロの場所にいることが分かった。フレミングさんは海兵隊員たちを駅まで案内して列車に乗せた。なお海兵隊員たちのその後の様子は不明。

<http://sptnkne.ws/caW9>

### **ウクライナが緊急動員を準備、マスコミが情報をリーク**

(スプートニク 2016年08月29日 21:50)

© Sputnik/ Evgeny Kotenko <http://goo.gl/kimrMk>

ウクライナ国防省は軍事委員部に対し、緊急動員を準備するよう指令を出した。8月29日月曜、ウクライナの「ヴェスチ」紙が国防省に近い消息筋からの情報として報じた。

「指導部は国の東部での軍事的煽動を警戒している。そうした煽動がクリミアないしドンバスのいずれの地域で起こりうるのか、現時点では不明。だが早急な動員が全員に指示された。」消息筋はこう語っている。

「ヴェスチ」紙が軍事委員部に確認のため問い合わせたところ、委員部側はウクライナ政権側からの公式的な指示がないことを理由に情報を否定。キエフ市軍事委員部のイーゴリ・スリュサラエンコ副委員長は「現時点では大統領は公式的には動員の決定を出していない。命令がないということは動員もないということだ」と語っている。

8月初旬、ロシアのヴェージェフ首相はウクライナの工作員によってクリミアでテロが準備された事実を受けて、ウクライナとの関係断絶の可能性も排除しないとする声明を表したばかり。

<http://sptnkne.ws/caXT>

### **独外相 ロシアに背を向けないよう呼びかける**

(スプートニク 2016年08月29日 22:30)

© AP Photo/ Britta Pedersen <http://goo.gl/3eXLXs>

ドイツのシュタインマイヤー外相は29日、ベルリンで開かれた大使会議で演説し、ロシアは欧州にとって簡単なパートナーではないが、ロシアとの関係を改善する方法を見つける必要があると指摘した。

シュタインマイヤー外相は、「私たちは信じられないほど複雑になったロシアに単に背を向けることはできない。我々は反対に、対立と緊張の高まりの段階から、共通の安全保障の安定した理解

へ再び移行するための方法を見つける必要がある」と述べた。なお外相は、これは「他の国も安全を感じている」時にのみ可能だと付け加えた。

先に伝えられたところによると、メルケル独首相は対露制裁を解除すべき時はまだ到来していないとの見解を表した。

ロシアと西側諸国の関係は、クリミアがロシアの構成体となったことと、ウクライナ南部・東部での紛争が原因で2014年春に複雑化した。

<http://sptnkne.ws/caZd>

### **イラク クルドと合意に達しなかった場合、イラン経由で原油販売を開始する可能性がある**

(スプートニク 2016年08月29日 22:46)

© AFP 2016/ Mahmud Turkia <http://goo.gl/tk1ZdQ>

イラク政府は、来週予定されているクルド自治政府との交渉が上手くいかなかった場合、イラン経由で原油を販売する可能性を検討している。イラクのニマ副石油相が明らかにした。ニマ副石油相はロイター通信に、交渉でいかなる結果も得られなかった場合、イラクは「イランあるいは他の国に原油を販売する別の方法の摸索を開始する。なぜなら国にはお金が必要だからだ」と述べた。

ニマ氏によると、「(クルド人たちを)交渉に招くための善意のジェスチャーとして」、イラクの国営石油会社 North Oil Company は、クルド人が管理するトルコに通じる石油パイプライン経由で原油の輸送を開始したという。

現在、石油パイプライン経由で日量およそ7万5,000トンが供給されている。なおこれは2016年3月に供給が一時停止する前の半分の量。先に伝えられたところによると、ロシアは石油採掘量がサウジにトップを譲った。

<http://sptnkne.ws/cbmf>

### **露米、テロ殲滅作戦で秋にはアレッポで空爆の協調開始へ**

(スプートニク 2016年08月29日 23:37)

© Sputnik/ Michael Alaeddin <http://goo.gl/JrXtxj>

露米両国の国防省はシリアのアレッポ市のテロリスト殲滅に尽力を協調する可能性について話し合いを続けている。アレッポは部分的にテロリストらによって掌握されている。掌握された区域には武器を捨て、投降することを拒否したテロリストのみが残ることになり、これが殲滅の対象にな

る。露米交渉に近い消息筋がインターファックス通信に明かした。

「双方はアレッポにいる武装戦闘員らに協調して攻撃を開始する可能性を話し合っている。時期はおそらく9月半ばとなるだろう。」消息筋はこう語っている。

先の発表では、この秋にはアレッポ周辺には武器を捨て、投降せよというシリア政府の提案を拒否したテロリストのみが残ることになる。この残党らに対し、これから封鎖、空爆が行われる。

先に伝えられたところによると、ロシアと米国はジュネーヴでシリア和平交渉の最終ラウンドを終了させた。

<http://sptnkne.ws/cbmh>

## 大アフリカ・オークション：日本は中国からアフリカを「又買い」することができるか？

(スプートニク 2016年08月30日 04:29 エフゲーニヤ・モイセーエワ)

◦ AP Photo/ Sayyid Abdul Azim <http://goo.gl/M5WMQt>

8月27・28日にナイロビで開催された第6回アフリカ開発会議（T I C A D）で日本の安倍首相は、今後3年間でアフリカ諸国の発展に300億ドルを拠出することを約束した。しかし、これは利他主義のジェスチャーでは全くない。日本は単にお金を与えるだけではない、お返しに何かを得たいのだ。

アフリカから日本が何を望んでいるかは、会議の最後に採択された「ナイロビ宣言」を調べることによって理解することができる。海洋安全保障に関する3.3.4にはこうある。「我々は、海賊、違法漁業及びその他の海上犯罪を含む海洋安全保障に関する地域的及び国際的な取組を促進すること、及び海洋法に関する国際連合条約（UNCLOS）に反映された国際法の原則に基づく、ルールを基礎とした海洋秩序を維持することの重要性を強調する」。

次の3.3.5、「21世紀における国連」のところには、「我々は、安全保障理事会を含む国連諸組織を早急に改革する決意を再確認し、最良のアプローチを見いだすための対話の強化を通じて政治的モメンタムを維持する」とある。そして、もちろん、宣言でも会議の過程でも、最も注目されたのは、アフリカの開発についてだ。3.1.2には「アフリカの国及び人々の雇用創出や技術・ノウハウ移転及び能力強化に繋がる質の高いインフラへの投資を推進する」とうたわれている。

南および東シナ海で中国と日本の緊張が強まっており、日本が中国の活発な活動を懸念していることにより、海上航行の自由についても注目された。この問題への日本の「個人的な」関心については、日本のメディアも認識している。

国連安全保障理事会の改革の必要性についての条項も驚くべきことではなかった。日本は、当時

の外務大臣河野洋平氏が 1994 年に最初にその希望を述べて以来、定期的に安全保障理事会の常任理事国になる願いを表明している。そして、成長し、輸出に開かれているアフリカ市場で、よりシェアを増やしたい日本の狙いも非常に分かりやすい。しかし、これらの目標を達成する日本にとっての見込みはどのくらい大きいのか？

第一に、日本は中国からアフリカを「又買い」しなければならない。正確に TICAD の 1 ヶ月前、中国は独自の中国—アフリカフォーラム（中国・アフリカ協力フォーラム（FOCAC））を開催した。

7 月 28 日の閉幕時には直接投資の形で 148 億ドルにのぼる 61 の協定が締結された。中華人民共和国海関総署によると、中国は過去 15 年間でアフリカの主要な貿易相手国となっている。ジャパンタイムズによると、2015 年、日本とアフリカ諸国間の貿易の売上高は 240 億。一方の中国は 1664 億ドルに上っていた。

モスクワ高等経済学院東洋学部長アレクセイ・マスロフ氏は、日本は中国のアフリカ市場における場所を横取りすることはできないが、日本にも独自のニッチがある、とする。

「日本はアフリカ市場に大幅に遅刻した。中国の積極的進出だけではない。アフリカは日本と仕事をするに関して、単に多くの経験がなく、そして意欲も持っていないのだ。中国は今、アフリカ諸国の主要なインフラ、農業、金融プロジェクトを担い、人材育成も行っている。しかし、日本は他の分野で相当できることが多い。技術やハイテク農業などだ。」

国連安保理改革、すなわち日本の常任理事国入りをアフリカ諸国が支援することについては、法的観点からは、日本は何も変更することができない。193 国連加盟国中、54 ヵ国、すなわち 30% がアフリカ大陸に位置している。しかし、たとえ安全保障理事会の新常任理事国に例えば日本を加えることにそのすべてが無条件支援を行ったとて、安全保障理事会常任理事国の一つ、例えば中国がこの決議に拒否権を用いれば、それを取り消すことはできない。しかし、専門家は、総会での投票の際、日本がこのような方法で過半数の賛成票を取り付けられるかどうかさえ疑わしいという。

「米国が国連を自分の味方にしようとしたとき、彼らは非常に積極的にラテンアメリカと協力し、自分側に大多数の国を引き寄せようとした。今日本は、アフリカと一緒にこのシナリオを繰り返そうとしている。しかし、中国はアフリカで相当うまくやった。ほとんどのアフリカ諸国はやはり中国を支持すると思う。」

アフリカというゲームにおける大きな目標の一つの中で、日本が達成できそうなのはたった一つ。すでに 80 年代、さらには 90 年代に日本経済を救った実績のある、海外への活発な投資家の進出で景気低迷を向上させることのみだ。

<http://sptnkne.ws/cbmm>

## プーチン大統領 安全保障会議のメンバーと日韓首脳との会談について協議

(スプートニク 2016年08月30日 06:03)

© Sputnik/ Sergei Guneyev <http://goo.gl/5xCnMl>

ロシアのプーチン大統領は29日、安全保障会議の常任メンバーとの会合を開き、ウラジオストクで予定されている日本の安倍首相と韓国の朴大統領との会談の様々な側面について議論した。ロシアのペスコフ大統領報道官が記者団に伝えた。

ペスコフ報道官は、次のように述べた—

「会合の参加者たちは、ウラジオストクで予定されている複数の国の首脳の国際的コンタクトの様々な側面について議論した。これは韓国の大統領と日本の首相との話し合いのことだ。」

ペスコフ氏はまた、ウラジオストクで開かれる東方経済フォーラムの準備に関する問題や、国の状況に関する現在の問題も議論されたと伝えた。

なお先に伝えられたところによると、菅官房長官は29日の記者会見で、9月初めにウラジオストクで実施の安倍首相とロシアのプーチン大統領の会談について、日本は露日関係全般にわたって話し合う見通しであることを明らかにした。

<http://sptnkne.ws/cbmp>

## ロシアと日本はシリアで合同人道ミッションを行うのか？

(スプートニク 2016年08月30日 07:14 タチヤナ・フロニ)

© Sputnik/ Mikhail Voskresenskiy <http://goo.gl/h5XJLK>

ロシア軍は日本の同僚たちにシリアのアレッポでの人道作戦に参加するよう呼びかけた。ロシア国防次官アナトーリイ・アントーノフ氏が上月豊久駐ロ大使との会談で述べた。実現した場合、合同作戦はどのようなものとなるか、それとも、何者かの邪魔が入るのか。

日本はいま積極的に世界各地の平和維持活動に参加している。日本の一番の狙いは国連安保理常任理事国になるに値する貢献ぶりを示すことだ。しかし政府はロシアからの今回の提案にまだコメントをしていない。その慎重姿勢を日本の軍事政策との兼ね合いで説明するのはモスクワ国立国際関係大学東洋学部長で日本専門家のドミートリイ・ストレリツォフ氏だ。

「日本の平和主義国家としてのステータスを考えると、これは日本特有の問題だ。しかし、米国との安保協定と関連する日本の一定の不自由さのあらわれでもある。そこには日本と他国の軍事協力を制限する条項がある。同盟を締結したり領土を提供したりできない。たとえ人道ミ

ッションでも、個別に米国と合意しなければならないのだ。それが証拠に日本はこれまで米国の参加するミッションにしか参加していない。あらゆるミッションにつき、参加には米国の同意が要るのだ。」

9.11 テロ以降日本は対テロ連合に加わり、日本の部隊の海外活動も非常に活発になった。日本はアフガンおよびイラクの連合勢力も積極的に支援。シリアに関しても他の西側諸国と調和した立場をとっている、とストレリツォフ氏。

「こうした状況ゆえ、日本はロシアの立場と一定程度隔たっている。たとえば誰をテロリストと見なすか、アサド政権を支持するかといった点で。これが露日の現在の立場を分けている重要ポイントだ。日本はやはり西側社会の一員であるから、この問題でロシアの味方をするにはできない。しかし、ロシアが日本に軍事協力を持ち掛けた時期に注目しよう。間もなクウラジオストックの経済フォーラムで首脳会談があるというタイミングだった。プーチン大統領の日本訪問も準備されている時だ。」

このことは両国関係に一定の期待を抱かせる、という。また、現在両国間に相当友好的な関係があることも。

「日本が自衛隊の海外派遣や憲法と整合する形にそれを合法化することを期して集団的自衛権の新解釈を打ち出したことについてロシアが批判を控えていることも示唆的だ。こんななかロシアが日本に合同ミッションを呼び掛けたのは、ロシアが日本を外交だけでなく軍事面でも、少なくとも人道ミッションにおける潜在的パートナーと見なしていることのあらわれだ。中国が日本の政策を一義的に批判していることを見ると、この点でロシアと中国は大きく異なる。むしろ日本を米国から引き離せるとするほどロシアはナイーブではない。ロシアは日本の国益と特性を考慮しているのだ。そして落としどころを見つけようとしている。今後の両国軍部の関係について中東で歩み寄ろうとしているのだ。」

戦乱で荒廃したイラクやアフガンのインフラ再建や民生施設建設などを通じて日本はすでに相当多量の人道作戦の経験を積んでいる。ロシアはそうした日本の経験が必要とされることを見込んでいるのだと思うべきだ。

<http://sptnkne.ws/cbmq>

## **プーチン大統領 国連総会に出席するためニューヨークには行かない**

(スポーツニク 2016年08月30日 12:31)

◎ 写真: Patrick Gruban <http://goo.gl/nUuQF1>

プーチン大統領は9月に米ニューヨークで開かれる国連総会会期に出席しない意向。ロシアのペスコフ大統領報道官が伝えた。第71回国連総会の会期が9月20日に開会し、1週間続くと伝えら

れた。すでに暫定的な演説プログラムが発表された。まず国連の潘事務総長が演説した後、オバマ米大統領、オランダ仏大統領が続く。ロシア代表団を率いるのはラヴロフ外相。外相は9月23日に国連総会の出席者を前に演説する見込み。

先に伝えられたところによると、ロシアと米国はジュネーヴでシリア和平交渉の最終ラウンドを終了させた。

<http://sptnkne.ws/cbnb>

### **ガーディアン紙 メルケル首相の後継者となる可能性のある人物を挙げる**

(スプートニク 2016年08月30日 13:45)

◎ REUTERS/ Fabrizio Bensch <http://goo.gl/qQ9zlp>

メルケル首相に代わって、ドイツキリスト教民主同盟（CDU）のイエンス・スパーン氏が独首相になる可能性がある。ガーディアン紙が報じた。

ガーディアン紙は、「メルケル政権は、CDUの党首（メルケル首相）が党内の問題に直面しなかつたため、全くゆるぎないかのように思われた… だがご紹介しよう。議員で副財務相のイエンス・スパーンは、多くの人が考えるように、ドイツの次期首相だ」と報じた。

また記事の中では、メルケル氏は過去11年間常に党の同僚たちの忠誠心を頼りにすることができたが、欧州で移民危機が起こってから1年が経過した今、状況は変わり、初めてCDUに政治的ライバルが出現するための場所ができたと指摘されている。

先に伝えられたところによると、ドイツの住民の半数が、メルケル首相の4期目続投に反対している。

<http://sptnkne.ws/cbsn>

### **在キルギス共和国中国大使館付近で爆発（動画）**

(スプートニク 2016年08月30日 17:12)

◎ Sputnik/ Tabyldy Kadyrbekov 1/2 <http://goo.gl/mJ93Tg>

30日午前、在キルギス中国大使館の近くで爆発があった。入手した情報によると、この爆発で1人が死亡、3人が負傷した。現場では現在、警察の部隊が活動している。地元のマスコミは、中国大使館の建物の門の近くで爆発があったと報じている。現在伝えられている情報によると、自動車爆発したという。



**動画** <https://youtu.be/bvCLaNL0jEA>

キルギス保健省は、「爆発現場で活動している救急隊は、大使館の敷地内の自動車の中で1人の遺体を発見した」と伝えた。

キルギスのラザコフ副首相は、テロ説を確認した。副首相は、『中国大使館の門に突っ込んだ自爆テロ犯は、自動車が爆発して死亡、キルギス人の大使館職員3人が負傷した』と伝えた。

確認された情報によると、ミニバン Mitsubishi Delica が中国大使館の門にフルスピードで乗り入れ、その後、爆発が起こったという。

<http://sptnkne.ws/cbmR>

## **米中、気候変動のパリ協定を2016年に実施へ**

(スプートニク 2016年08月30日 17:25)

© AFP 2016/ JIM WATSON <http://goo.gl/58zSzc>

米国と中国は国連気候変動枠組み条約で採択されたパリ協定の実施に向けて動き出す構え。米国のブライアン・デイス大統領副補佐官国家安全保障問題担当が記者会見で明らかにした。デイス大統領副補佐官は、杭州でのG20サミットのフィールドでオバマ、習両首脳の間で実施され、そのなかで討議される様々な問題のなかにパリ協定の発効を急務とする尽力についても取り上げられると指摘した。

デイス大統領副補佐官は、協定が発効するためには地球全体の二酸化炭素放出量の55%を占める55カ国の支持が必要と指摘し、米中が占める割合は放出量全体の40%弱だと語った。

<http://sptnkne.ws/cbrQ>

## **クリル 遂に露日関係発展の妨げをやめるか？**

(スプートニク 2016年08月30日 17:56)

© Sputnik/ Sergey Krasnouhov <http://goo.gl/X3nIxQ>

共同通信は30日、複数の日露関係筋の話として、「安倍政権は29日、北方領土問題の進展を待たずにロシアへの包括的な経済協力を先行させる方向で調整に入った」と報じた。共同通信はこれについて、「両国間の信頼関係を高めた方が領土問題の解決に資すると判断した」ためであり、協力は領土交渉の進展に応じるとした安倍政権の従来の方針を「事実上転換する」と伝えている。

日本では、5月にソチで行われた安倍首相とプーチン大統領の会談後に述べられた二国間関係の「新しいアプローチ」の本質はここにあると考えられている。共同通信によると、一部事業は年内にも着手する方向で、安倍首相が5月の露日首脳会談で提唱した8項目の経済協力案が先行実施される。

共同通信は、「(安倍)首相はロシア極東ウラジオストクで9月2日に予定されるプーチン大統領との会談の際、日本政府を挙げて取り組む考えを伝える見通し」だと報じている。先に伝えられたところによるとウラジオストクの露日首脳会談、日本は対露関係全般の議論を希望した。

<http://sptnkne.ws/cbsv>

### **仏大統領、対露制裁を後悔、関係の正常化に期待**

(スプートニク 2016年08月30日 20:42)

© AP Photo/ Etienne Laurent, Pool <http://goo.gl/E46tGv>

オランダ仏大統領はロシアとの関係の悪化を後悔し、対露制裁の撤廃は共通の国益と指摘する声明を表した。

「ウクライナ危機は欧州諸国にとっては対露関係に影響した。私の見解では状況は後悔に値する。なぜならこれはあらゆる方面に害をもたらすからだ。特に合同の経済プロジェクトは制裁で害を受けた。このため我々は一刻も早くこの状況を脱却する最良の解決策を見つけることに関心がある。」

オランダ仏大統領は毎年実施される仏外務省の会議の席で自国の大使らを前に演説したなかでこう語った。オランダ大統領はまた最高レベルでの関係修復に期待を表した。

先に伝えられたところによるとメルケル独首相、「制裁解除の潮時ではないが、議題には上がりうる」とのべた。

<http://sptnkne.ws/cbus>

### **東京：外相会談は対立のレッドラインを消去せず**

(スプートニク 2016年08月30日 19:33 タチヤナ・フロニ)

© REUTERS/ Kim Hong-Ji <http://goo.gl/OGA2S1>

外交の世界では今月日本、中国、韓国の三ヵ国外相が年内に三者サミットを開ク合意に達したことが特記に値する。専門家によれば、表面にこのような目に見える進展があった一方、外相会談の

結果を注意深く観察すると、全く別の結論が出る。ロシア科学アカデミー極東研究所日本研究センター長ワレーイ・キスタノフ氏がスプートニクとのインタビューで述べた。

「会談が不成功だったというわけは、会談後になんらのコミュニケも声明も出なかった事実による。会談後の記者会見でも外相らの発言に終始し、記者からの質問は受け付けなかった。辛辣で、不愉快な質問を恐れたのだろう。事実上、東京で二つの陣営が会ったのだ。一方は中国、他方は米国のアジア太平洋地域における最重要同盟国二国。ゆえに勿論会談には米国が影を落としていた。」

東南アジアで今海域と領土をめぐる争いが活発化している。日本が南シナ海で中国と紛争を抱えるベトナム、フィリピンなどを支援していることも中国の不興を買っている。スプラトリー諸島では中国は将来的に米国海軍に匹敵する海軍基地を作ろうとしている、とワレーイ・キスタノフ氏。

「中国の人工島建設にともない米国が航行の自由を規定するのを日本は支持している。航行の自由保障作戦に参加したなら日本は越えてはならぬレッドラインを越えたことになる、と中国が厳しい警告を発するまでに事態は悪化している。日本側は、中国が公船を尖閣領海に派遣するならそれこそ中国にとってのレッドラインだと主張。こうしたことが両国関係を深刻に損ねている。このように引かれたレッドラインの間で中国と日本が妥協を見出せるとは考えにくい。」

3カ国を日韓や中韓で見ても状況は似たり寄ったりだとワレーイ・キスタノフ氏。

「日韓なら歴史問題と領土問題。中韓なら韓国が米国の対ミサイルシステム配備に同意したことが今問題だ。一部専門家は三カ国間の経済関係を重視する。しかし私はそれにクミしない。3カ国自由貿易協定の話はだいぶ以前からあるが、話の域を出ない。現実には何もなされていない。その最大の原因がまさに政治的不和だ。」

それでも日中韓外相会談に肯定的側面はある。大砲の照準越しでなくテーブルを囲んで問題を話そうとしていること。しかしそれを誇張するには当たらない、とロシア科学アカデミー極東研究所日本研究センター長ワレーイ・キスタノフ氏。

<http://sptnkne.ws/cbuP>

### **米議員団、オバマ氏にサウジ向け武器輸出の延期を要請**

(スプートニク 2016年08月30日 20:23)

© Flickr/ Stephen Melkisetian <http://goo.gl/yn16hD>

60人による米上院議員団がオバマ米大統領に対し、サウジアラビア向けの武器輸出を延期する求める書簡に署名。延期要請の理由はサウジアラビア主導連合軍によるイエメン空爆作戦で犠牲者の数が増大したため。

「ここ数日でサウジアラビアの空爆でイエメンでは学校が攻撃され、10人の児童の命が奪われた。」雑誌「フォーリン・ポリシー」に掲載された書簡案にはこう書かれている。

これより前、米務省は戦車153台、銃などの兵器10億ドルをサウジアラビアに販売する提案を承認したばかり。

8月半ばにはビンラディンの息子がサウジ市民に対して、サウジ政権打倒へ呼びかけたニュースが報道されている。

<http://sptnkne.ws/cbw9>

### 仏、米とのTTIP交渉の停止を要請

(スプートニク 2016年08月30日 21:12)

© AFP 2016/ Patrick Kovarik <http://goo.gl/r0INFK>

仏は米国との商業協定交渉を停止するよう呼びかける。30日、仏外務省のマティアス・フェクル長官対外貿易担当がこうした声明を表した。

「仏は貿易投資分野で米国との大西洋横断貿易投資パートナーシップ協定(TTIP)交渉を停止するよう求める。」

欧州の米国との商業交渉では先日、ドイツ副首相で経済大臣のジグマール・ガブリエル氏がEUと米国間の自由貿易圏に関する交渉は決裂したことを明らかにしたニュースが報じられたばかり。

<http://sptnkne.ws/cbxH>

### 8月に世界で起きた地震の数々

(スプートニク 2016年08月30日 21:45)

© AP Photo/ Sandro Perozzi <http://goo.gl/ltfxgv>

スプートニク日本が8月を振り返り、今月世界中で発生した大地震の特集を組みました。

8月1日、インドネシア中部のスンバワ島沿岸でM5.8の地震が発生した。米地質調査所(USGS)が報じた。地震が発生したのは、現地時間06時40分(日本時間で08時40分)。震源地は、スンバワ島の海岸沿いの村から9キロ、震源の深さは約10キロ。

8月1日、M6.1の地震がインド洋で発生した。米地質研究所が報じた。震源はモーリシャスの町

ポート・マチュリン東方 2,025.1km で、震源の深さは 10km だ。負傷者や建物の倒壊の情報は入っていない。この地震による津波のおそれはない。

8月4日、ベーリング海のコマンドルスキー諸島近くでM5.1の地震が発生した。ロシア非常事態省カムチャツカ総局が木曜報じた。地震は水曜深夜発生。震源はベーリング島のニコリスコエ村西沖59キロという。震源から海岸線までの距離は43キロ。非常事態省によれば、被害者や損壊は出ていない。

8月4日、M5.2の地震がパプアニューギニア沖の太平洋で発生した。米国地質研究所が報じた。米国地質研究所によると、震源はパプアニューギニアのアンブンチから東へ65km、震源の深さは73.9km だという。なお犠牲者や建物の倒壊に関する情報は伝えられていない。

8月5日、M6.0の地震がアルゼンチン北部で発生した。死傷者や損害については未詳。米地質調査所の発表をメディアが伝えている。震源はアブラ・パンパ北西48キロならびにボリビアとの国境から南へ約50キロ、深さ258キロの地点。

8月5日、M5.4の地震がロシアトゥヴァ共和国首都クズルの南456kmの地点、モンゴル西部で発生した。ロシア科学アカデミー統一地球物理学局アルタイ・サヤン支部が報じた。アルタイ・サヤン支部の情報によると、モスクワ時間9時13分に起きた地震の震源は北緯47.69度東経95.70度の地点だという。

8月7日、ウクライナでM4.8の地震があった。米地質調査所が伝えた。現地時間で8月7日11時15分（日本時間で17時15分）に地震があった。震源地はマリウポリから北東に2キロ、震源の深さは10キロだった。住民たちはSNSで壁や家具が揺れたと伝えている。ドネツク、マケエフカ、ドクチャエフスク、ヤシノヴァタヤ、マリウポリなどで揺れが感じられた。

8月10日、米カリフォルニア州でM5.0の地震が発生した。米国地質調査所が発表した。震源はカリフォルニア州アペルレイクから北東へ19キロ、深さは約18.5キロ。負傷者や物的被害は報じられていない。

8月11日、カムチャツカで昨日から今日にかけての一夜のうちにおよそ10回の地震が発生した。Mは2～5.2。ロシア科学アカデミー地球物理学科カムチャツカ支部より。

8月12日、南太平洋のフランス領ニューカレドニア沖でM7.6の地震が発生した。その後M5.4、5.2の余震が続いた。米地質調査所が発表した。

8月12日、カムチャツカ沿岸部のアヴァチンスキー湾でM4.2の地震が発生した。

8月12日、M5.1の地震がインドネシア沖で発生した。米国地質調査所の報告。震源地はジャカルタから215キロ西、バンダールランブンから135キロ北西の海上、深さ68.3キロの地点。死傷者や物的損害に関する情報はなく、津波警報も発令されていない。

8月14日、M5.5の地震がサハリン島で発生した。ヨーロッパ地中海地震学センターが報じた。地震は日曜日現地時間22時15分（モスクワ時間14時15分）にアレクサンドロフスク・サハリンスキー市から南方62kmで発生し、震源の深さは10kmだった。死傷者や建物の倒壊の情報は入っていない。

8月15日、日本の東北地方でM5.5の大型地震が発生。気象台の情報によれば、震源地は福島県。震源の深さは40キロ。

8月15日、フィリピンでM5.4の地震が発生した。米国地質調査所が発表した。地震は標準時11時32分（日本時間20時32分）発生。震源はサンレミジオ市から北東へ10km、深さ49.4kmの地点。負傷者や建物の損壊などは伝えられていない。

8月18日、オーストラリア東海岸沖でM5.7の地震が発生した。米国地質調査所が発表。地震は標準時04時30分（日本時間13時30分）発生。地震はボーウェン町から東へ45キロ、深さ7.8キロの地点。なお、現時点では負傷者や建物の損壊などは伝えられていない。

8月19日、M5.0の地震がニュージーランドの一部であるケルマデック諸島周辺海域で起こった。米国地質調査所が報じた。震源はラウル島の北東216キロ、深さ10キロの地点。物的被害や死傷者に関する情報は報告されていない。

8月19日、九州・熊本県でM4.3の地震が発生。日本の気象庁が報じた。震源地は、4ヵ月前の地震と同様に熊本県で、震源の深さは約10キロの地点。負傷者や建物の損壊などは伝えられていない。

8月19日、南大西洋にあるサウスジョージア島でM7.4の地震が発生した。米国地質調査所が報じた。

8月20日、日本の沿岸部でM6.0の地震が発生した。米国地質調査所が伝えた。震源は青森県の八戸港から東へ185.7km、深さ10kmの地点。人的及び物的被害については報告されていない。

8月21日、米地質調査所によれば、サウスジョージア島沖合の大西洋でM6.4の地震が発生した。震源の深さは10キロ、津波発生のおそれに関する情報は、今のところ伝えられていない。

8月22日、ベーリング海のコマンドルスキー諸島近くでM5.4の地震が発生した。ロシア科学アカデミー地球物理学科カムチャツカ支部が発表。地震はベーリング島から51キロで発生し、震源の深さは35.7キロだった。死傷者や建物の倒壊の情報は入っていない。なお、この地震による津波の心配はない。

8月24日、イタリア中部で、強い地震が発生した。最も大きな被害を受けたのは、ラツィオ州リエーティ県だった。最初の揺れはアクモリ地区でモスクワ時間04時36分に観測され、それに数回

の揺れが続いた。欧州地震センター（EMSC）のデータによれば、地震の規模は、M6.1 だった。なお米国地質調査所は 6.2 と発表した。揺れは、イタリアの多くの都市の住民にも感じられた。地震後の地滑りの結果、アマトリーチェの町が破壊された。市当局は、6 人の死亡を確認した。一方マスコミは、少なくとも 14 人が亡くなったと報じている。

8 月 24 日、ミャンマーで M6.8 の強い地震があった。香港天文台が伝えた。

8 月 25 日、インドネシア沖で、M5.8 の地震が発生。米国地質調査所が発表した。

8 月 26 日、日本の太平洋沖で M5.8 の地震が発生した。米国地質調査所が伝えた。

8 月 29 日、大西洋南部のアセンション島の北方で M7.4 の地震が発生。米地質調査所が発表した。

<http://sptnkne.ws/cbyT>

## ロシアのパラリンピスト、2018 年平昌への出場も断たれる

（スプートニク 2016 年 08 月 30 日 21:39）

◎ Sputnik/ Maksim Bogodvid <http://goo.gl/qrWjh0>

国際パラリンピック委員会はリオデジャネイロのパラリンピックでのロシア人選手の出場停止処分の決定は 2018 年に韓国の平昌で開催のパラリンピックにも適用されることを明らかにした。ロシア・パラリンピック委員会が公式サイト上で書簡を公表した。

ロシア・パラリンピック委員会は 8 月 15 日、国際パラリンピック委員会の決定を不服としてスポーツ仲裁裁判所に訴えたが、提訴は退けられた。

<http://sptnkne.ws/cbz4>

## 9 月 2 日のプーチン・安倍首脳会談で平和条約もテーマに

（スプートニク 2016 年 08 月 30 日 22:23）

◎ Photohost agency <http://goo.gl/F3vb7N>

プーチン大統領と安倍首相は 9 月 2 日、ウラジオストクの東方経済フォーラムのフィールドでの会談で、平和条約および朝鮮半島情勢について触れる可能性がある。30 日、ユーリー・ウシャコフ大統領補佐官が明らかにした。

「首脳会談では朝鮮半島情勢など逼迫した国際問題が話し合われるほか、多方面のフィールド

での相互関係が議題に上げられうる。会談ではまた平和条約のテーマも取り上げられるものと期待されている。ロシア側はこのテーマでの交渉を継続していく構え。」

菅官房長官は29日の記者会見で、9月初めにウラジオストクで実施の安倍首相とロシアのプーチン大統領の会談について、日本は露日関係全般にわたって話し合う見通しであることを明らかにした。

<http://sptnkne.ws/cb2y>

### **日本とユニセフ 2年間でドンバスの学校 45 校の再建を支援する**

(スプートニク 2016年08月31日 05:25)

© Sputnik/ Valeriy Melnikov <http://goo.gl/yJjCr1>

ウクライナ紛争の被害を受けた子供15万人以上が、2015年から2016年にユニセフ（国連児童基金）と日本政府の協力のお陰で教育を受けるより良い機会を得たほか、学校45校が再建された。通信社UNNが、ユニセフ・ウクライナ事務所広報室の発表を引用して伝えた。

ユニセフはウクライナで2015年から2016年に日本政府からの資金援助のもと、ウクライナ東部の子供たちのための状況改善に関する2つのプロジェクトを実現した。

特に、紛争の被害を受けた子供たちには学校用教材キットや早期幼児開発キットが届けられ、子供たちは修理された学校で学ぶ機会を得たという。

<http://sptnkne.ws/cbEs>

### **クリントン氏もトランプ氏も日本経済の抱える問題を解決してはくれないが、問題を増やすことはできる**

(スプートニク 2016年08月31日 06:31 リュドミラ サーキャン)

© AP Photo/ Carolyn Kaster <http://goo.gl/234zCY>

ドナルド・トランプ氏がヒラリー・クリントン氏と差を縮めている。11月にはトランプ氏の逆転が判明するということにもなりかねない。大統領選での演説がどれほど矛盾した、エキゾチックなものに見えようと、そこには真実の粒がある。米国の経済と金融システムの問題点についてトランプ氏は激しくFRB（連邦準備制度理事会）を批判、「癌のように米国を虫食いにする巨大な負債で米国の金融システムを表彰した」と述べた。

米国の国家債務は約20兆ドルに達し、GDPの103%を超えている。「しかしFRBの役人は米



国国民に対するいかなる直接の責任もない」とトランプ氏は強調した。これらの言葉は銀行家らに向けられたものでは全くなかったのに、銀行家らは警戒感を示した。数日前、世界の大手金融機関の年次シンポジウムでの講演で、FRBのジャネット・イエレン理事長は、米国はついに連邦金利を引き上げる条件をやっと整えつつあると、意味深な示唆を行った。それが11月の米国大統領選挙後か、または9月20日のFRBの次回会合の後かは不明。

一部の専門家は、金利上昇はユーロ、円、ポンドなど他の通貨に対するドルの急騰につながるとしている。一方、同じシンポジウムで日本銀行の黒田東彦総裁は、予想される金利上昇を歓迎した。「FRBが現在のゼロに近い水準からその主要金利を引き上げるのがいつになるかわからないが、それは日本経済を含め、世界経済にとってプラス要因となるはずだ」と同氏は述べ、一方で日本銀行は注意深くリスクを監視し、必要に応じて、金融政策のさらなる緩和を行う構えだ、とつけ加えた。

グローバリゼーションと社会運動研究所経済研究センター長ワシーレイ・コルタショフ氏によると、日本経済にとって非常に重要なファクターはFRBの決定だけに限らない。

「日本は米国の古い伝統的なパートナーであり、TPPや多国籍企業にも参加しているが、日本経済は長い間、成長テンポ、安定性、改善への希望を失ってきた。ほかの誰にも与えることができないように、クリントンは日本に希望を与えることはできない。少なくとも米国経済を成長させ、他国を引っ張るレシピを持っていない。トランプは別のベクトルをもつ政治家だ。彼はまず米国自身の中で『アウゲイアースの家畜小屋掃除』が必要なことを心得ている。債務の圧力を減らし、クレジットを健全化し、アジア商品を含め、外国人のための保護関税を作ることが必要なのだ。これは、明らかに日本にとって不快なことだ。

大恐慌時保護関税を引き上げた米大統領ハーバート・フーバーが日本経済に与えた影響を思い出すだけで十分。これは危機の奈落の底に日本経済を落とした。フーバーは米国の危機に対処することはできなかったのだが、輸入に対する制裁が外国市場を襲ったこと、それは事実だ。トランプが中国製品や日本車を対象にもし保護関税を設置したなら、それは両国の経済に打撃となる。もっとも、選挙でトランプが勝った場合にこのアイデアをどこまで実現できるかは別問題だ。そのことは、米国の貿易収支の赤字がそれに下向きの圧力をかけるだろうので、必ずしも他の主要通貨に対しドルを強めることにはつながらない、金利の緩やかな増加などよりもはるかに深刻だ。」

黒田総裁が日本経済の状態を楽観的に評価しているにもかかわらず、ECB（欧州中央銀行）とFRBと同様日本銀行が目標としている2%のインフレはいまだ達成されていない。インフレ率は頑固に許容できないほど低いレベルを保っている。しかしワシーレイ・コルタショフ氏はインフレ・ターゲティングの有効性に疑問を呈している。彼によると、2%が3%または4%よりも良く経済成長に貢献し、いわゆる価格の安定化が経済に有用であるという決定的な証拠は存在しない。

<http://sptnkne.ws/cbCC>

## プーチン大統領の12月の訪日日程はすでに合意しているークレムリン

(スプートニク 2016年08月31日 07:49)

© Sputnik/ Michael Klimentyev <http://goo.gl/qC3kWW>

ロシアのプーチン大統領は12月に日本を訪問する。具体的な日程はすでに合意している。ロシアのウシャコフ大統領補佐官が明らかにした。

補佐官は記者団に、「長い間延期されていたプーチン大統領の日本訪問は12月に予定されている」と述べ、「訪問日程はすでに合意しているが、我々はそれを恐らく、日本側との（日程発表に関する）合意に従って公表するだろう」と伝えた。

ウシャコフ補佐官によると、プーチン大統領の訪日の際の具体的な議題については、ウラジオストクの東方経済フォーラムの「場」で行われるプーチン大統領と安倍首相の会談で話し合われる見込み。

先に伝えられたところによると、プーチン大統領と安倍首相は9月2日、ウラジオストクの東方経済フォーラムのフィールドでの会談で、平和条約および朝鮮半島情勢について触れる可能性がある。

<http://sptnkne.ws/cbEu>

## TTIP交渉は事実上、決裂したのか？

(スプートニク 2016年08月31日 09:01)

© AFP 2016/ Sebastian Gollnow/dpa <http://goo.gl/xY6ok9>

独のジグマール・ガブリエル経済相は米国との大西洋横断貿易投資パートナーシップ協定(TTIP)をめぐる交渉は事実上決裂したことを明らかにした。

スプートニクはこれについて欧州議会の政治会派、社会民主進歩同盟出身のベルギー選出の議員、マーク・タラベラ氏に確認を行なったところ、次のような回答が寄せられた。

「独の高官（副首相クラスの）がこうした声明を表したということは期待が持てる。そもそもこの協定はうまく出来たものではなく、自由貿易圏についてのものでもない。これは貿易と投資についての協定であり、大企業を守り、こうした企業が自然保護、健康、労働者の社会的権利を法律化する社会機関に影響を与えることを許すものだ。欧州委員会レベルの交渉ではかなり前から深刻な圧力が加えられている。米国でも欧州でも世論の側から寄せられる批判はますます増えている。欧州委員会は世論がこの協定に反対していることを分かりたくないのだ。」

先に伝えられたところでは、私は米国との商業協定交渉を停止するよう呼びかけた。30日、仏外務省のマティアス・フェクル長官対外貿易担当がこうした声明を表した。

<http://sptnkne.ws/cbEv>

## **米アナリスト、米国はNATOを脱退せよ**

(スプートニク 2016年08月31日 11:18)

◎ 写真: <http://goo.gl/erx8M3>

米国人弁護士でアナリストのブリュース・フェイン氏は米国はNATOを脱退すべきと主張。脱退によって米国政府はようやくNATO加盟国ではなく自国の安全保障に注意を払うようになるからというのが主張の理由。

フェイン氏はさらに、米国にとってNATO加盟は世界覇権のためでしかないと指摘する。

「米国はNATOを米国帝国時代の文化財の展示品としてミュージアムへと変える潮時だ。」フェイン氏は米インターネット新聞「ハフィントン・ポスト」への投稿でこう記した。

フェイン氏は米国は自国の防衛、自国民の安全に取り組むべきであり、エストニア、ラトビア、リトアニアのような自国の国益外の国に米兵を派兵しようとしているが、そうした国の防衛にかかずらあうべきではないとの見方を示した。

フェイン氏はNATOを脱退することで米国は対露関係の緊張度を著しく下げることができると指摘している。

<http://sptnkne.ws/cbEw>

## **マスコミ：イスラム主義者の可能性がある60人以上がドイツ軍に入隊**

(スプートニク 2016年08月31日 13:29)

◎ AFP 2016/ DPA / PETER ENDIG <http://goo.gl/vrPh11>

ドイツで暮らすイスラム主義者たちは、軍事訓練を受け、その後、取得したスキルをテロ攻撃の実施で使用するために、ドイツ軍部隊に入隊しようとしている。独紙ディ・ヴェルトが消息筋の話として伝えた。

ディ・ヴェルトによると、イスラム主義者の可能性がある64人がドイツ連邦軍に入隊した。また情報機関は、ドイツ軍の中で右翼急進主義者である疑いのある者268人と、左翼過激主義者の疑い

がある者6人を発見した。

ドイツの軍指導部は、新たな軍務候補者がより厳格なセキュリティチェックを受けるようにするための法改正を行う意向。ドイツ国防省の報道官は、政府は法案に関する決定を承認するプロセスにあると発表した。

今年4月、ドイツ当局はドイツ軍にイスラム主義者が存在する可能性について懸念を表していた。当時、未確認情報によると近年少なくとも29人のドイツ連邦軍の元兵士がシリアとイラクへ渡り、テロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国）」に加わったと伝えられた。

<http://sptnkne.ws/ccgz>

### 「アルカイダ」の元リクルーター 米国の優秀な大学で職を得る

(スポーツニク 2016年08月31日 19:19)

© AFP 2016/ Rami Al-Sayed <http://goo.gl/c1solP>

米ジョージ・ワシントン大学は、テロ組織「アルカイダ」の元リクルーター、ジェシー・モートンを、国家安全保障問題の専門家として雇った。通信社スポーツニクが、現地のマスコミの情報を引用して伝えた。

以前ユヌス・アブドラ・ムハンマドとして知られていたジェシー・モートンは、反テロ活動の「ユニークなビジョン」を持ち込むと見られている。伝えられたところによると、事前にモートンを雇う件について、米連邦捜査局（FBI）、治安関係者、モートンの事件を扱った弁護士らと議論がなされた。大学側はモートンを信頼しているという。

先に伝えられたところによると、ビンラディンの息子、サウジ政権打倒へ呼びかけた。

<http://sptnkne.ws/cbHM>

### 露日韓首脳 9月3日に東方経済フォーラムの総会で演説、海洋水族館のオープニングセレモニーに出席

(スポーツニク 2016年08月31日 19:38)

© AFP 2016/ FABRICE COFFRINI <http://goo.gl/R2SchY>

ロシアのプーチン大統領、日本の安倍首相、韓国の朴大統領は9月3日、ウラジオストクで開かれる東方経済フォーラムの総会で演説するほか、ルースキー島の海洋水族館のオープニングセレモニーに出席する。ロシアのウシャコフ大統領補佐官が、記者団に明らかにした。

ウシャコフ氏は、安倍首相と朴大統領が今年の東方経済フォーラムの貴賓となることについて言及し、「(9月3日の)総会では、我々の大統領の演説、韓国の大統領と日本の首相の演説が行われ、その後、質疑応答、コメントの公開討論となる。非常に生き生きとした、興味深い討論になると思われる」と述べた。

またウシャコフ氏は、総会の前に露日韓の3カ国の首脳たちが、ルースキー島の世界最大級の海洋水族館のオープニングセレモニーに出席すると伝えた。

<http://sptnkne.ws/cbHy>

## 日本含む 17 カ国の反ドーピング機関長がWADAの改編呼びかける

(スポーツニク 2016年08月31日 21:07)

© REUTERS/ Christinne Muschi <http://goo.gl/ozJF2L>

17カ国の反ドーピング機関長が、最近のドーピングスキャンダルを理由に世界反ドーピング機関(WADA)の改編を呼びかけた。BBCが報じた。

改編の提案はオーストラリア、オーストリア、カナダ、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、アイルランド、日本、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、スウェーデン、シンガポール、スイス、イギリス、アメリカ、そして53カ国のアンチ・ドーピング機関が加盟する国際組織である Institute of National Anti-Doping Organizations (iNado) のリーダーらにより、今週デンマークのコペンハーゲンで開かれたサミットで提唱された。

特に、WADA指導部が同時にほかのスポーツ組織のポストを占めることができないよう、同組織をより独立したものにすることが提案された。現在WADA会長のクレイグ・リーディー氏は、IOCの副委員長でもあるのだ。

さらに、サミットでは次の4つの提案がなされた。

—スポーツ機関が自身の行為の調査を余儀なくされた時に起こる利害関係をめぐり内部抗争を避けるため、諸スポーツ機関から検査、調査、制裁発動機能を剥奪する。

—反ドーピングシステムへの大規模破壊活動が起こった場合に発動する、具体的な抑止的制裁を含むWADAのコードクスに変更を盛り込む。

—WADAの調査・制裁発動機能を拡大する。

—投資拡大によりWADAを強化する。

先に伝えられたところによると世界反ドーピング機関長がロシア選手薬物摂取の証拠提出を拒否した。

<http://sptnkne.ws/cbJV>

### 北方領土問題…、はもう問題じゃない？

(スポーツニク 2016年08月31日 22:49 タチヤナ・フロニ)

© Sputnik/ Michael Klimentyev <http://goo.gl/xDutu4>

日本政府はロシアとの間の領土問題の解決に進展を待たずして、両国の経済協力の拡大への意気込みを見せている。共同通信が複数の消息筋からの情報として報じた。共同通信はこれを、日本がロシアとの協力をクリル諸島の解決如何においていた従来の論争原則的な立場から退かせたことを示すと評価している。日本政府内では5月ソチでのプーチン・安倍首脳会談の後、二国関係の新たなアプローチの本質は領土問題に関する従来の姿勢を修正することにあると理解している。その本質とは経済関係は領土交渉の如何に関わらず拡大せねばならないということに尽きる。9月この路線はウラジオストクの東方経済フォーラムですでに続行されることになる。

一方で日本政府内には日本の投資がかえってクリル問題の解決に遅れをきたすのではという危惧感があると共同通信は書いている。これが理由となってロシア人専門家らの中からは日本政府が最後に行なった声明は宣言に近いものではないかという見解が挙げられている。高等経済学校の日本専門家、アンドレイ・フェシュン氏はスポーツニクからのインタビューに対し、これらの声明は9月2日のウラジオストクでのプーチン・安倍両首脳の新たな会談を前に単に露日対話を活性化させる目的で出されたものではないかとの見解を示し、次のように語っている。

「日本人は実際のところは領土問題で今までの立場を譲ろうとはしていない。だが一方で日本は中国からの脅威、圧力が止まない様子を見ている。これは経済も軍事も、いや地域的、地政学的な圧力だ。また米国の役割が弱まりつつある様子も日本は目にしている。中国が近海で押しの姿勢を打ち出すのを抑止しようとする米国の試みはあまりにも弱い。同時に米国次期大統領もクリントンになるのかトランプなのか、また全く予想がつかない状態だ。だがどちらの候補者も（まあ、トランプ氏のほうがこれは声高に言っており、ヒラリー氏のほうは控えめだが）米国とパートナー国の関係を米国の重みを軽くする方向へ見直さねばならないと主張している。これがゆえに日本は周りを見渡さざるをえない。新たなパートナー探しをしないのであれば、日本が当てに出来き、不意打ちを食らわないですむ国くらいは探さねばならないだろう。この意味で外国のプレスがどうこう書きたてようとロシアは日本にとっては一番信頼のおけるパートナーなのだ。」

何よりもまず経済パートナー。ロシアは日本に対してもその隣国、領域に対しても攻撃的な計画は一切持っていない。日本も領土問題に関して自国の立場を退ける気はないものの、将来、二国の

領土問題が論議に挙げられることは少なくなる。フェシュン氏は、そうなれば合同の経済プロジェクトの実現化もそれほどブレーキがかかることはなく、結果的に双方にとって有利にはたらくだろうとの見方を示し、次のように語っている。

「両国の経済関係は日本の土台の上に立っている。日本の実業界の旗艦らにかかっている。ところがこうした旗艦たちはグローバルなことにかかる際は未だに性急な歩みはとってこなかった。だがこの状況は中小企業のロシア市場進出の試みを阻止してはこなかった。例えば、サハリンにある観光スパ施設の建設もしかり。沿海地方にもほかのプロジェクトも少なくない。つまり実際にロシアと日本の経済コンタクトは常に行なわれている。にもかかわらずそれは未だに期待するほどの規模では行なわれていないのだ。」

とはいえ実業界の前向きな姿勢は実際すでに前よりも活発化している。共同通信の指摘では今までロシアに進出していなかった日本企業数社が今年にも作業を開始しようとしている。共同通信によれば、安倍氏の提案した8項目の土台をなすのは極東開発、そして石油ガス分野でロシアの生産力のアップに技術的な協力を行なうこと、最新のテクノロジーを導入した医療センターの発展だ。

<http://sptnkne.ws/cbNm>

## 米国 F-35 戦闘機を初めて外国に配備へー日本に配備

(スプートニク 2016年08月31日 21:26)

◎ 写真: Heath Cajandig <http://goo.gl/Xqx2UZ>

米国は来年、第5世代戦闘機F-35を初めて外国に配備する方針。F-35は、揚陸艦「ワズプ」と「エセックス」に配備され、中東とアジア太平洋地域で展開する。テレビ局「ロシア24」が報じた。

米海兵隊の副司令官ロバート・ウォルシュ中将は、「揚陸艦への戦闘機配備は、米国の戦闘能力を大幅に拡大する。米国はワズプだけでなくエセックスにも、今年、機器を配備する方針だ」と発表した。

ウォルシュ中将によると、日本とその海岸近くに合わせて16機が投入され、うち6機は「ワズプ」に配備、残りの10機は地上の米軍岩国基地に配備されるという。なおウォルシュ中将は、必要であれば米軍はこの展開中に全16機のF-35をワズプに投入できると強調した。

先に伝えられたところによると、米軍司令部は2017年日本にロッキード・マーティン社の第5世代ステルス戦闘機F-35 16機を移送する計画。

<http://sptnkne.ws/cbPw>

## 独外相 ロシアのG8復活を支持

(スプートニク 2016年08月31日 21:31)

© REUTERS/ Valentyn Ogirenko <http://goo.gl/E5qGf6>

ドイツのシュタインマイヤー外相は、ロシアのG8復活を支持した。

シュタインマイヤー外相は、独 Redactions Networks Deutschland のインタビューで、「シリアとウクライナでの紛争は、世界の主要経済国の緊密な協力からロシアを除外しないという我々の関心を示している。ウクライナ東部とシリアの停戦交渉で著しい進展が得られた場合、『G7』諸国はこの問題をロシアと話し合うことができる。『G8』への復活のカギはロシアにある」と述べた。

日本、ドイツ、フランス、イタリア、英国、米国、カナダの「G7」の首脳たちは5月、ロシアの行動が「それを必要とする」ならば、制裁措置を強化することもあり得ると警告し、対ロシア制裁の延長で合意した。

ロシア政府は、制裁維持に関するニュースはサプライズとはならなかったとし、対ロシア制裁の延長が世界経済に利益をもたらすことはないだろうと指摘した。

先に伝えられたところによる、とメルケル独首相は、「制裁解除の潮時ではないが、議題には上がりうる」とのべた。

<http://sptnkne.ws/cbPW>

## ダーイシュ（IS）がシリアにいたリーダーの死亡を明らかに

(スプートニク 2016年08月31日 21:36)

© AP Photo/ <http://goo.gl/yEInyi>

ダーイシュ（イスラム国、IS）の報道官アブ・モハメド・アドナニ容疑者がシリア・アレッポで死亡した。ロイターが過激派組織の情報を参照して報じた。

アドナニ容疑者（39）はシリア北部のイドリブで生まれた。容疑者には米 국무省が500万ドルの賞金をかけていた。アドナニ容疑者は何よりも、全世界のイスラム非信奉者を標的に攻撃せよとムスリムに呼びかけたダーイシュの報道官として有名だった。

また、アドナニ容疑者はダーイシュの、警察と諜報機能を併せもち、テロの輸出を担当していた多層構造の特殊部隊「EMNI」を率いていた。

アレッポの一部は現在、武装組織の管理下にあり、シリアでの紛争のキーポイントである。7月



末、ロシアからはシリア政府と合同でアレッポでの大規模な人道作戦の開始が宣言されていた。先に伝えられたところによるとトルコ軍は、シリアで最初の損失をした。

<http://sptnkne.ws/ccg9>

## **プーチン大統領とオバマ大統領 G20 サミットの「場」でシリア情勢審議の可能性**

(スプートニク 2016年08月31日 21:37)

© Sputnik/ Alexei Nikolsky <http://goo.gl/3bKhy9>

プーチン大統領とオバマ大統領は中国で開催されるG20 サミットの「場」でシリア情勢を審議する可能性がある、ロシアのドミトリー・ペスコフ大統領報道官が報じた。

ペスコフ報道官が、記者団による中国で開催されるサミットの「場」での米露首脳によるシリア情勢審議の可能性についての質問に次のように答えた。

「情勢についての個別のフルフォーマットの会談のようなものは現時点では計画されていない。同時に我われは、短いものか、より詳細なものかはともかく、意見の交換はもちろん行われると想定することができる。」

先に伝えられたところによるとロシアと米国、シリア協議の最終ラウンドを終了した。

<http://sptnkne.ws/cbTq>

## **ロシア人にトルコでのルーブル建て決済の提案**

(スプートニク 2016年09月01日 02:18)

© Sputnik/ Valeriy Melnikov <http://goo.gl/wQJ93U>

トルコを旅行するロシア人観光客はロシアの通貨、つまりルーブルで決済できるようになる。トルコのニハト・ゼイベクジ経済相が31日記者団に伝えた。

ゼイベクジ経済相はトルコのアンタルヤで開催中のロシアトルコメディアフォーラムの中で次のように述べた。「ロシア人はトルコではルーブルで支払うべきだ」。

ゼイベクジ経済相によると、今年7月までのロシアからトルコへの観光客の流れは今年7月までの時点では70%から80%減少したが、現在観光客の数は回復しており、昨年のレベルを超えるだろうとみられている。観光客増加を促進するのは特に、両国間での自国通貨建て決済の可能性だろう。

8月28日、ロシアのメドヴェージェフ首相はロシア観光客のトルコへのチャーター便を再開した。それまではロシア・トルコ間の航空便は乗り入れが制限されていた。これは、去年11月24日ロシアの爆撃機Su-24がトルコ空軍によって撃墜された後ロシアが取った報復措置の1つだった。

<http://sptnkne.ws/cbTH>

## TTIP交渉決裂、その原因はズバリ何か？

(スプートニク 2016年09月01日 07:34 リュドミラ サーキャン)

© REUTERS/ Eric Vidal <http://goo.gl/7lz9fn>

28日、独のジグマール・ガブリエル副首相は米国とEUとの大西洋横断貿易投資パートナーシップ協定(TTIP)交渉は決裂した事を明らかにした。その2日後に今度は仏からさらに衝撃的な声明が表された。30日、仏外務省のマティアス・フェクル長官対外貿易担当が自身のツイッター上で「米国は全ク何も与えないか、またはパンくずのようなものしか提案しようとしなさい。

連合国間の交渉はこのようには行なわれるべきではない」と苦情を書き表したからだ。こうしたことから仏政権は欧州委員会に対し、米、欧州間の商業協定交渉を停止するよう呼びかける構えを表している。

今年2月、TPP協定が締結された。この他にも東アジア地域包括的経済連携(RCEP)も誕生すれば巨大な陣営となるはずだ。RCEPでは中国がリーダーの地位を狙っている。だがこの3つの協定のなかでも最も野心的なものはTTIPだろう。なぜならば冗談半分にNATOの経済バージョンとまで言われるTTIPはこれが実現した場合、世界のGDPのほぼ半分を、また世界の全投資の3分の2を一手にまとめる存在になるからだ。だが米国との交渉にのぞんだ国は次々に協定から自国が蒙る影響について危惧感を表すようになった。それは今日提案の内容が大方において欧州諸国の国益とは矛盾していることがわかったからだ。

TPP交渉もまたスムーズには進んでいない。だが米国にとっては近いはずのEUとの交渉がアジアの11カ国との話し合いよりも難航しているのは一体なぜなのだろうか？ 高等経済学校、世界経済、国際政治学部のアレクセイ・ポルタンスキー教授はスプートニクからのこうした問いに次のように答えている。

「すべての地域間貿易協定のなかでもTTIPは政治的な次元が最も高いとされている。これはかつてヌーランド米務省報道官が口にしてきた。ヌーランド氏は、TTIPは貿易協定というよりはむしろ政治面に重きが置かれたものであり、パートナーらは互いに、そして共通の未来に政治的な重きを置くものであると説明していた。確かに貿易経済上のスケールからすればWTOの枠内で新規則を充填し、この先の自由化を図るというのはある程度遅れをとってしまったといえる。ところがビジネスは新たな規則、新たな市場、将来の拡大を必要としており、まさにこれが新たなフォーマットの創設を後押しとなったのだった。TTIPに関していえば、

このなかには中国に対抗しよう、大西洋世界の主導的立場を維持しようという戦略的動機はある。米国とEUのアプローチは多くが原則的に相容れないものだ。だが米国の実業界のほうが断然力があるため、ある程度の圧力はもちろん講じられてしまう…。」

日本でのTPPに対してのリアクションと同様、欧州でもTTIPに最も激しく反対しているのが農産者らだ。農産者はEU市場が米国のより安価な製品で溢れてしまうことを懸念している。躓きの石となったのは農産者向けの輸出支援金、欧州の衛生、植物検疫措置の変更といったほかに遺伝子組み換え食品の欧州への輸入を許可する問題を米国の生産品の都合のいいように操作しようとしたことだった。

エネルギー、サービス市場への相互アクセスの自由化問題でも意見の相違がある。欧州が特に憂慮するのはTTIPの枠内で投資家と国家の間の需要の許可を担当する新たなストラクチャーが出現することだ。これはEUの小国に米国の大企業の製品を押し付ける機能を果たすと恐れられている。矛盾はまだ批准されてはいないが、協定の調印過程もそうだった。だがTTIPにさらに政治的ファクターが現れた場合、これによって調印の可能性はさらに下がる。たとえば英国のEU離脱を問う国民投票がそうだ。英国がEUの統一市場へのアクセスを温存するか、どういった条件で温存を図るのか。これによって英国が交渉に参加するかどうかははっきりするだろう。また米国は国内にもTTIPに関しては2人の政敵が存在する。それは米次期大統領の座を狙うヒラリー・クリントン氏とドナルド・トランプ氏だ。そのどちらもが選挙前の演説ではTPP、TTIPを熱っぽく批判している。

TTIP交渉はすでに3年目を迎えた。第1ラウンドはワシントンで2013年7月に開始されたが、これは予定では2016年、オバマ政権の終了までには終了するはずだった。ところがこのところの情勢を見ると、「NATOの経済バージョン」の運命はかなり濃い霧に包まれている。

<http://sptnkne.ws/ccgJ>

## 「ダーイシュ」ナンバー2 ロシアの空爆で死亡

(スプートニク 2016年09月01日 09:19)

◎ 写真: Ministry of Defence of the Russian Federation <http://goo.gl/exuGOL>

シリアのアレッポでロシアが空爆を行った結果、テロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国）」のナンバー2とみられていた野戦司令官のアブ・ムハンマド・アル・アドナニを含む約40人からなる戦闘員のグループが一掃された。ロシア国防省が発表した。

ロシア国防省によると、戦闘員を攻撃したのはロシアの爆撃機スホイ34型機で、アレッポのマアラタト・ウンム・ハウシ地区で8月30日に行われた。

国防省は、「アブ・ムハンマド・アル・アドナニは、ダーイシュの指導者アブ・バクル・アル・

バグダディに次ぐダーイシュのナンバー2とみられており、西ヨーロッパ諸国と米国でのテロ実施を呼びかけたことでも知られていた」と伝えた。

先に伝えられたところによると、ダーイシュ（イスラム国、IS）の報道官アブ・モハメド・アドナニ容疑者がシリア・アレッポで死亡した。

<http://sptnkne.ws/ccgN>

## 東方経済フォーラム寸前で日本は対露路線を変更

（スプートニク 2016年09月01日 10:24 リュドミラ・サーキャン）

© Sputnik/ Maksim Blinov <http://goo.gl/47021N>

9月2日にウラジオストク で開幕の東方経済フォーラムで主要ゲストとなるのは日本、韓国の代表たちだ。2015年の初めての開催では主要ゲストは中国からの代表団だったが、今年中国人の参加者の数はずっと少ない。とはいえ中国もこのフォーラムへも、様々な経済分野でロシアと協力を行うことに対しても関心を失ってはいない。ただ現時点では中国指導部、実業界のエリートの全神経は9月4～5日に杭州で開催のG20サミットの準備に向けられているのだ。

その中国に東方経済フォーラムのすぐ後、プーチン大統領も飛ぶ。習国家主席から個人的に招待を得たからだ。9月4日、露中両首脳は会談を実施し、その席で新たな合意が締結されるものと見られているが、これについて中国外務省欧州中央アジア課のグイ・ツンユイ課長は「おそらく マスコミにはサプライズがあるだろう」と含みのある発言を行なっている。

この時期ウラジオストク では、プーチン大統領と安倍首相、韓国の朴大統領とのそれぞれの2者会談に向けた最後の詰めの作業が行なわれている。日本からは北海道、鳥取、富山の3県から知事も現地入りする。東方経済フォーラムはアジア方面でのロシアの外交政策の成功度を測る一種のインジケーターの役割を果たしている。日本と韓国はある時期まではロシアのいう「東方転換」に懐疑的なまなざしを投げかけていた。だが露中協力の成し遂げた経済の達成はこの2国をかなり活性化させた。これをモスクワ・カーネギーセンター、アジアプログラムのトップ、アレクサンドル・ガブエフ氏は「現時点では最もおいしい分け前を見ると、中国人は全部には預かっていない」と評している。

全体から見ると日本はロシアとの関係正常化路線を選択し、安倍氏も東方経済フォーラムを自身の新たな政策をアピールする場として利用している。その新たな政策とは5月6日のソチ非公式訪問で示されたものだ。この時安倍首相は協力の8つの方向性を打ち出したが、これには極東のインフラ発展を含めた日本の資本参加が提案されていた。東方経済フォーラム開催まで数ヶ月間をかけ、極東開発省はそれへの返答として日本の投資に最も合目的なプロジェクトのリストを作成した。フォーラムで日本側はこのリストに対する前提的な評価を出すものと期待されている。

8月30日付けの共同通信は政府内の消息筋からの情報として、日本のロシアに対する立場に変更が加えられたと報じた。政府内消息筋は「当初日本は領土問題で進展があった場合、初めてロシア側に経済支援を行うつもりでいたが、こうした政策は交渉では何の進展ももたらさなかった。このため我々は思考方法を変える必要に迫られている」と語っている。おそらく前回のプーチン大統領との会談で安倍氏は経済協力と政治問題の解決を「分けて考える」ことを確約したのだろう。共同通信は、日本はこうしたアプローチは双方向の信頼関係を構築する上で一助となり、ゆくゆくは領土問題交渉の進展にもつながるとふんでいるのだろうとの見方を表している。

「アジア太平洋地域におけるエネルギー協力、橋を架ける」と題されたセッションではアジアエネルギーリング・プロジェクトが話し合われる。これはロシア、中国、モンゴル、韓国、日本をひとつにまとめるものとなるとされている。今年3月末北京で「ロスセチ」社と日本のソフトバンク・グループ、韓国電力公社、中国の国家电网の代表らは北東アジアを網羅する電気エネルギーシステムの相互連携を合同で推進するメモランダムに調印している。このプロジェクトは実現化までは長い道のりになるかもしれない。なぜならアジアは欧州とは異なり、こうした経験を有していないからだ。それでも電力網をつなぐという構想は実際画期的なものだ。日本にはアジアエネルギーリング構想、サハリナー日本エネルギーブリッジ構想に対しては熱心な支持者も反対者も存在する。その両方ともが主張の正しさを証明する多量の論拠を挙げている。ロシアエネルギー省のインニュツイン次官は、この問題で大事なものは経済的な合目的性の試算との見解を表している。

<http://sptnkne.ws/ccgT>

## ロシア国連大使：シリアでの化学兵器についての報告書の事実は改ざんされた可能性

(スプートニク 2016年09月01日 11:27)

◎ REUTERS/ Bassam Khabieh <http://goo.gl/ZJGqrc>

国連とOPCW＝化学兵器禁止機関が先週公開したシリアでの化学兵器使用を調査した情報は、テロリストによって改ざんされた可能性がある。ロシアのウィタリー・チュルキン国連大使は国連安保理会議でそう述べた。

報告書では化学兵器を用いた攻撃にシリア政府が2件、ダーイシュ（イスラム国、IS）が1件関与したと述べられている。

チュルキン国連大使は30日安保理会議で次のように述べた。

「報告書のデータは、おそらく外部からの助けを借りたシリア政府の敵対勢力およびテロ組織により改ざんされた可能性が十分ありうる。」

チュルキン国連大使はまた次のことに注意を向けた。

報告書を作った調査グループが「明らかに確定された事実を断言するのではなく、仮定に特徴的な文言を多用することで、入手可能な証拠のあいまいさを事実上自ら認めている。」

チュルキン国連大使はまた、国連安保理は安保理メンバーの政治的関与によって、中東での化学テロの脅威と実現との戦いの活発化のために使うべきであった時間を、少なくとも2年失ったと述べた。

先にスプートニクの独占インタビューで国連のバシャーラ・アル・ジャアファリシリア常駐代表は、国連安全保障理事会はシリアにおける化学兵器使用の調査を妨害している、と述べた。

<http://sptnkne.ws/ccgX>